

(こまったときの・\_・。)) 指導付き教科書ワーク

これで教科書 完璧

算数ワーク

小学4年生-上

解答

詳しい解説が書き込んであります。

ダウンロードは

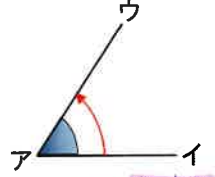
<https://waseijyuku.jp>

和清学習会

|   |    |         |            |             |   |
|---|----|---------|------------|-------------|---|
| 1 | 基本 | 角とその大きさ | 角のはかり方 - 1 | 学<br>習<br>日 | / |
|---|----|---------|------------|-------------|---|

1  にあてはまることばや記号や数字をかきましょう。(5点×10)

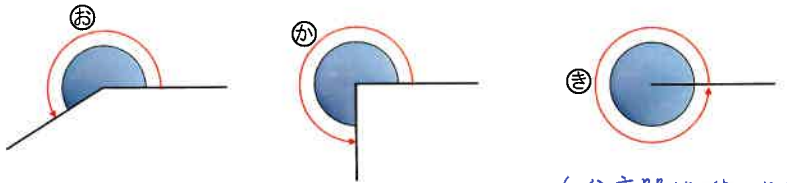
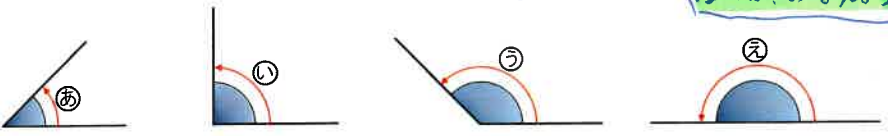
(1) 直線が辺アイの位置からアウの位置までまわってできる形を **角** といい、その大きさを **角度** といいます。



「角」の字を「角」としないように!

(2) 下の㉔～㉗の角のうち、直角は **㉔**、直角2つ分の角は **㉕**、直角3つ分の角は **㉖**、直角4つ分の角は **㉗** です。

★大切  
90°, 180°, 270°, 360°は、どのくらいの大きさなのか、おぼえよう!

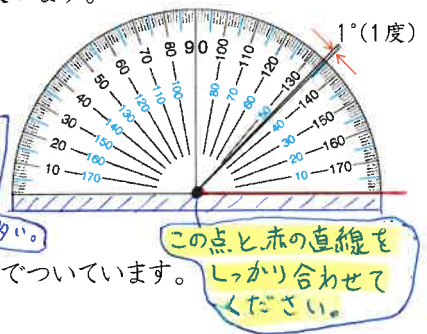


(3) 角の大きさをはかるには、**分度器** を使います。

分度器の小さい1目もりは **1** 度を表し、1° とかきます。

(4) 直角は **90** ° です。

(5) 分度器の目もりは、0° から **180** ° までついています。



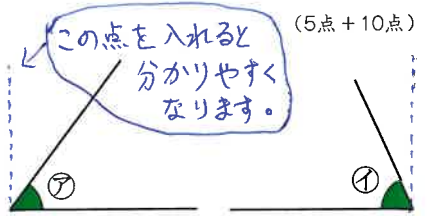
学校で渡される分度器は、下の部分が付いているものが多い。

分度器 ・ 角 ・ 角度 ・ 180 ・ 1 ・ 90

★(2) ㉔の角は90°より小さく、㉗の角は90°と180°の間であることがわかることが大切です。 A-1

2 下の図を見て、あとの問題に答えましょう。(5点+10点)

(1) ㉑と㉒の角は、どちらが大きいですか。



答え( **㉑** )

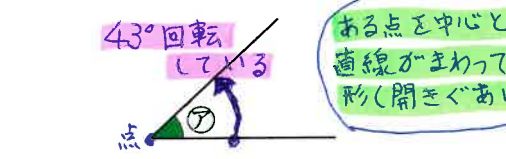
(2) ㉑と㉒の角の大きさは何度ちがいますか。

$65^\circ - 54^\circ = 11^\circ$

答え( **11度** )  
(11°)



3 下の図を見て、あとの問題に答えましょう。(5点+10点)



ある点を中心として、直線がまわってできる形(開きぐあい)

㉑が大きい気がするけど、何かひっかけかな? って言う子が多いです。  
43°回転している。

(1) ㉑と㉒の角は、どちらが大きいですか。

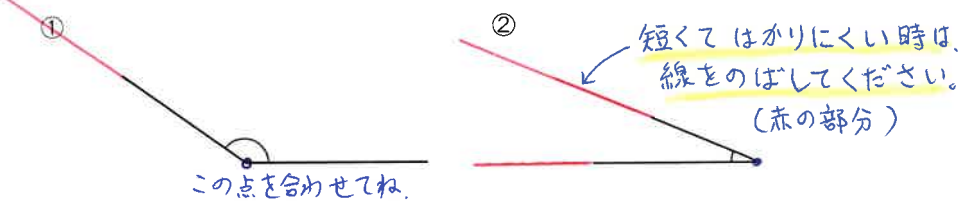
㉑角とは何なのか、見かけの大きさ(線の部分)ではないことを理解しましょう。㉒

答え( **自由に答えて下さい。** )

(2) ㉑と㉒の角の大きさは何度ちがいますか。はかって、くらべましょう。

答え( **どちらも43°で同じ** )  
(0°)

4 下の角の大きさをはかりましょう。(10点×2)



㉑( **145°** )  
(144°~146°)可

㉒( **23°** )  
(22°~24°)可  
A-2  
(2~3度ちがえば、もう一度はかってみましょう。)

1 次の角の大きさを調べましょう。 分度器ではかってください。 (5点×3)

- ① 直角〔 $90^\circ$ 〕    ② 半回転の角〔 $180^\circ$ 〕    ③ 1回転の角〔 $360^\circ$ 〕



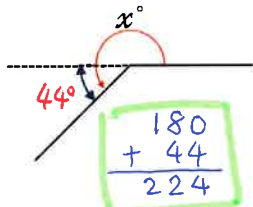
2 次の角  $x$  の大きさを①, ②の2とおりの方法ではかりましょう。 (10点×2)

① 180度より何度大きいかを調べる

$$\text{(式)} \quad 180 + \boxed{44} = \boxed{224}$$

(45)                      (225)

答え〔 $224^\circ$ 〕  
(225)



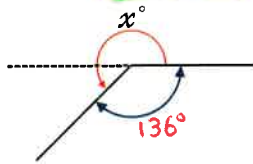
② 360度より何度小さいかを調べる

$$\text{(式)} \quad 360 - \boxed{136} = \boxed{224}$$

(135)                      (225)

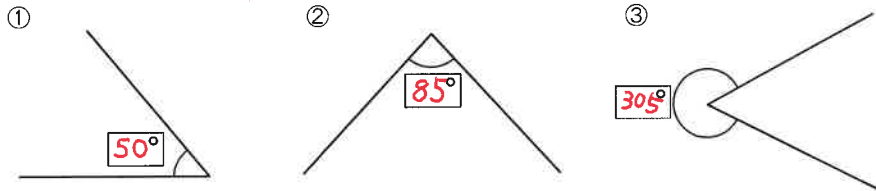
$$\begin{array}{r} 360 \\ - 136 \\ \hline 224 \end{array}$$

答え〔 $224^\circ$ 〕  
(225)



3 次の角の大きさは何度に見えますか。見当をつけましょう。 (3点×5)

(角度は5°きざみです。はからなくて答えましょう。誤差10°以内は合格。ピッタリは+5点)



✦ 教科書にはこの問題はありません。



$90^\circ, 180^\circ, 270^\circ, 360^\circ$  をもとにして見当をつけましょう。

4  にあてはまることばや数をかきましょう。 (5点×2)

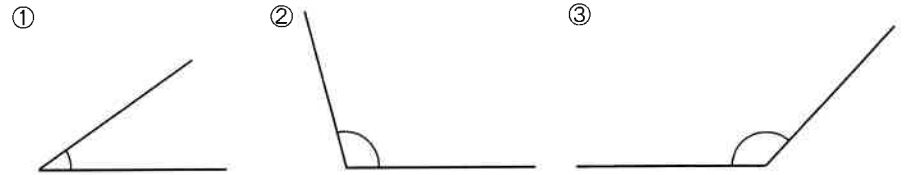
(1) 半回転の角度は、直角の  分の大きさに  度です。

$$90 \times 2 = 180$$

(2) 1回転の角度は、直角の  分の大きさに  度です。

$$90 \times 4 = 360$$

5 次の角の大きさをはかりましょう。 ( $1^\circ \sim 2^\circ$  のちがいは可) (5点×5)



(  $35^\circ$  )

(  $105^\circ$  )

(  $133^\circ$  )

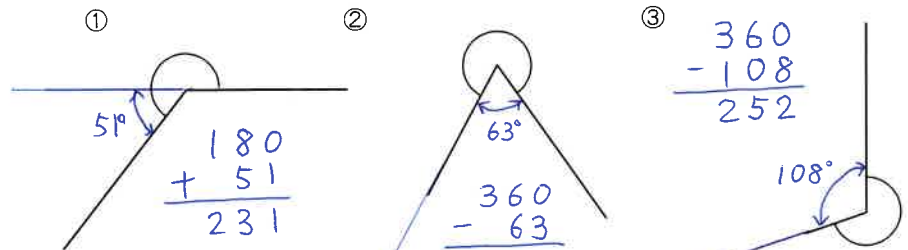
(はかりにくい時は、線をのばしてはかりましょう。)



(  $20^\circ$  )  
(19)

(  $168^\circ$  )

6 次の角の大きさをはかりましょう。 ( $1^\circ \sim 2^\circ$  のちがいは可) (5点×3)



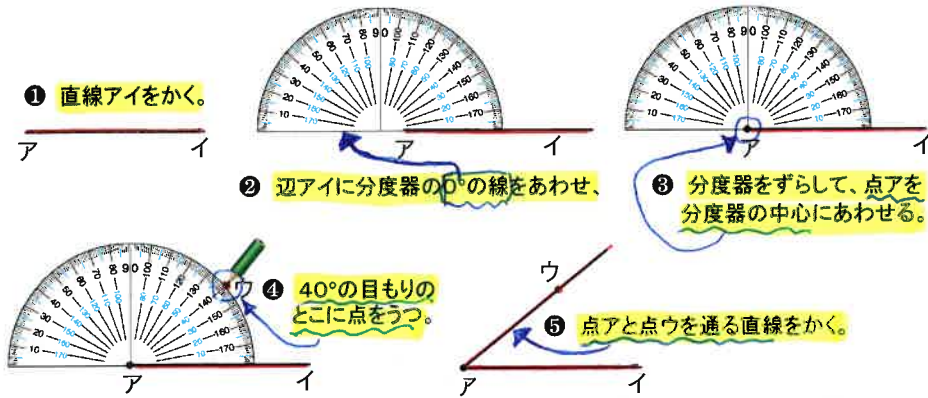
(  $231^\circ$  )

(  $297^\circ$  )

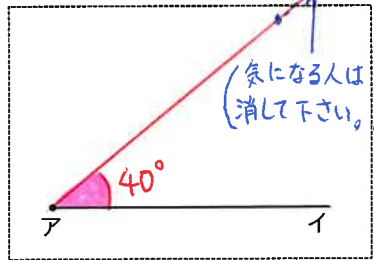
(  $252^\circ$  )

|          |    |                |       |   |
|----------|----|----------------|-------|---|
| <b>3</b> | 基本 | <b>角とその大きさ</b> | 角のかき方 | 学習日 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px;"></span> |
|----------|----|----------------|-------|---|

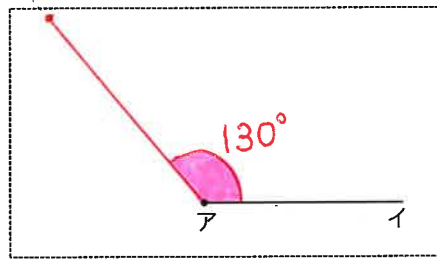
1 角のかき方をおぼえて、(1) 40°の角と、(2) 130°の角をかきましょう。(10点×2)



(1) 40°の角

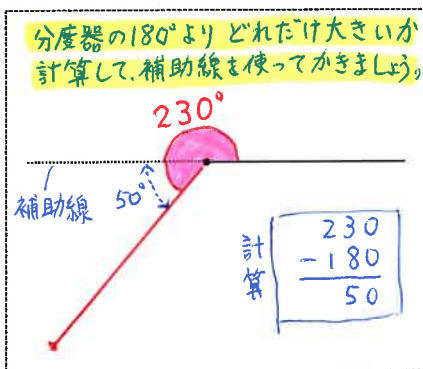


(2) 130°の角

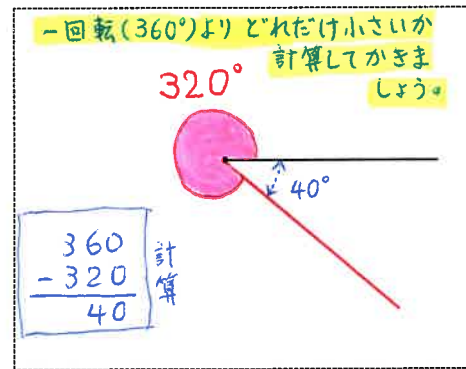


2 半回転の角(180°)や1回転の角(360°)をもとにして、次の角をかきましょう。(10点×2)

(1) 230° <180°を使ってかこう>

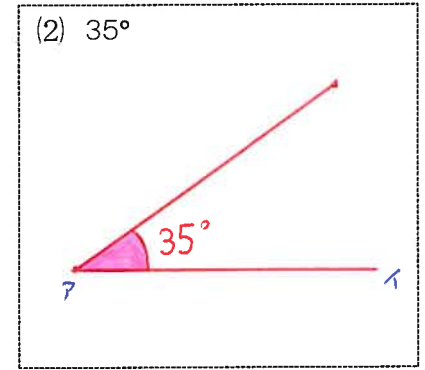
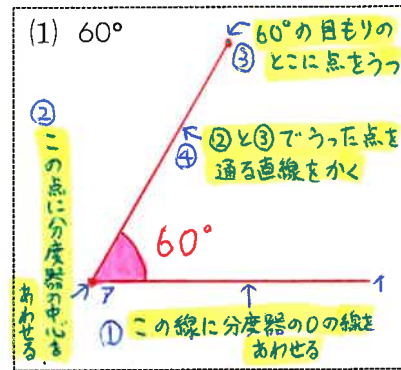


(2) 320° <360°を使ってかこう>

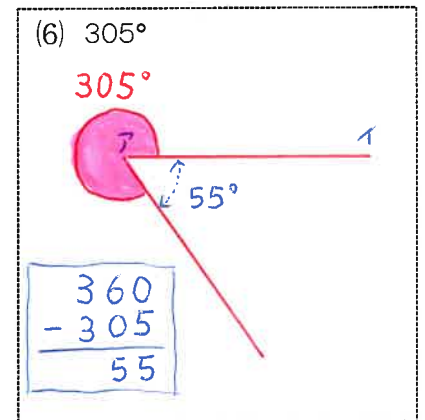
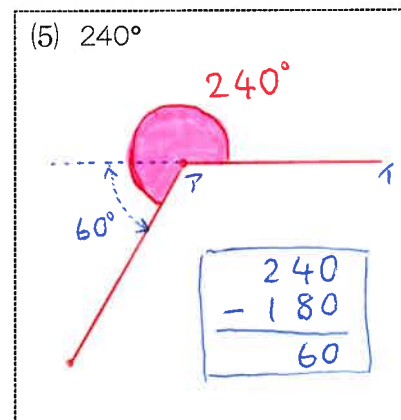
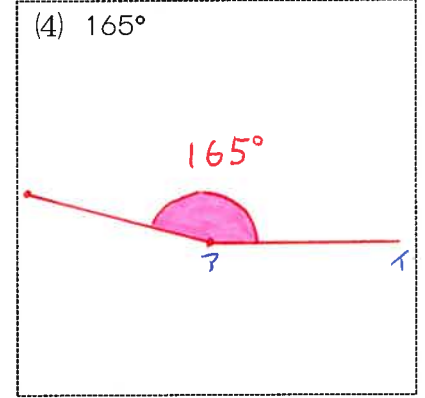
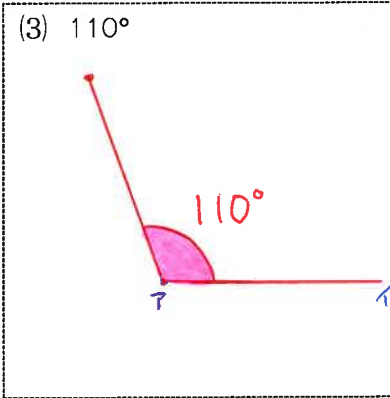


3 次の大きさの角をかきましょう。

(10点×6)



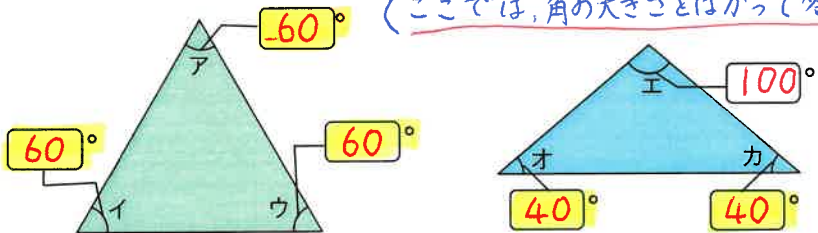
角がかきやすい位置を決め、まず下の直線アイをかきましょう。



**4** 標準 **角とその大きさ** 三角形の角・三角じょうぎの角 学習日

**1** 正三角形や二等辺三角形の角の大きさをはかりましょう。(3点×6)

(ここでは、角の大きさをはかって答えて下さい。)



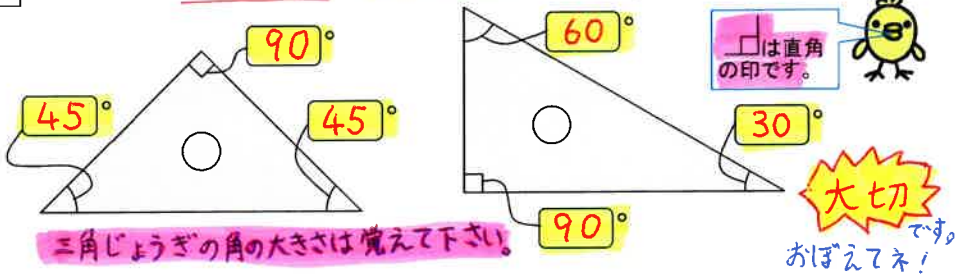
正三角形では、3つの角はどれも60°になっています。



二等辺三角形では、2つの角の大きさが同じになっています。

三角形の内角の和が180°になることは、小5で学習します。ここでは、上の2つの性質を覚えておきましょう。

**2** 角の大きさをはかりましょう。(3点×6)



大七刀です。おぼえてネ!

**3** 下の図は、1組の三角じょうぎを使って、いろいろな角を作ったものです。

⑦、①の角の大きさを答えましょう。(筆算をしよう。)

(4点×4)

(1)

|     |
|-----|
| 90  |
| +45 |
| 135 |

|     |
|-----|
| 30  |
| +45 |
| 75  |

⑦は、90°と45°を合わせてた角度  
①は、30°と45°を合わせた角度

(2)

|     |
|-----|
| 90  |
| -45 |
| 45  |

|     |
|-----|
| 45  |
| -30 |
| 15  |

⑦は45°から30°をひいた角度です  
①は右上のヒントより90°から45°をひいた角度です。

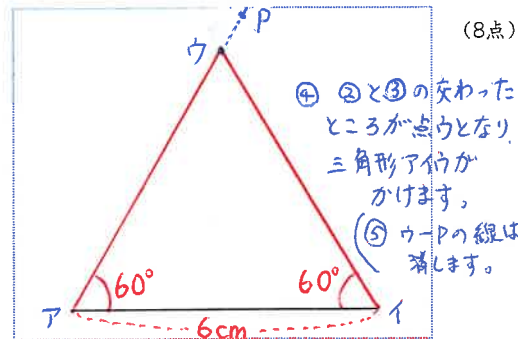
(1) [ ⑦… 135°, ①… 75° ]

(2) [ ⑦… 45°, ①… 15° ]

A-7

こちらは、むずかしいようです。実際に三角じょうぎを重ねてみてください。

**4** 三角じょうぎの60°の角を使って、1辺の長さが6cmの正三角形をかきましょう。



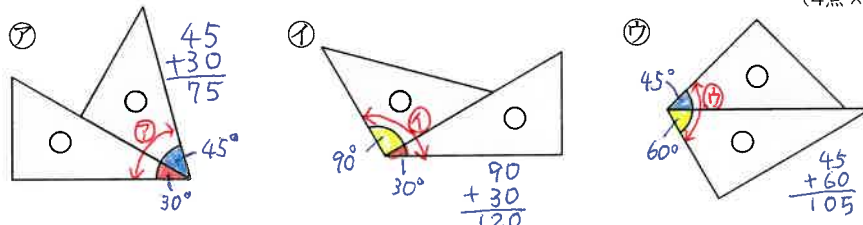
(8点)

- まず、下の方に6cmの直線アイをかきます。
- 点アを分度器の中心におわせ、60°の目もりのところに点Pをうすます。そして、アとPをなぞります。
- 点イからも、②と同じことをします。

④ ②と③の交ったところが点ウとなり、三角形アウイがかけます。  
⑤ ウーPの線は消します。

**5** 1組の三角じょうぎを使って、⑦～⑩の角を作りました。それぞれ何度ですか。

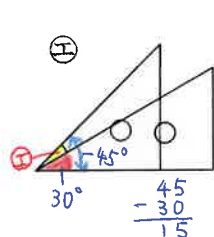
(4点×7)



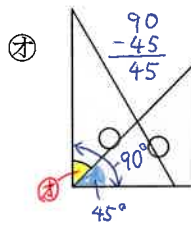
⑦ [ 75° ]

⑧ [ 120° ]

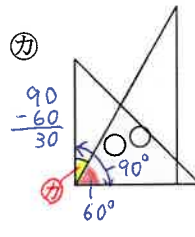
⑨ [ 105° ]



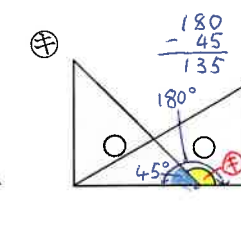
⑩ [ 15° ]



⑪ [ 45° ]



⑫ [ 30° ]



⑬ [ 135° ]

**6** 次の時計の、長いはりと短いはりがつくる角度は何度ですか。

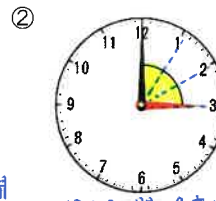
(4点×3)

(ミニレキ)



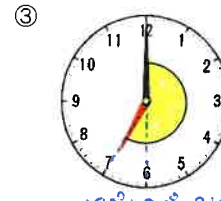
12と1の間  
90°÷3=30°...①の角度  
(30°×1=30°)

① [ 30° ]



12と3の間の角度は90°です、  
(30°×3=90°)と考えてよい。

② [ 90° ]



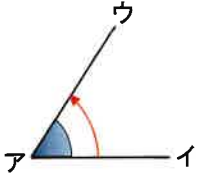
180°+30°=210°  
(30°×7=210°)と考えてよい。

③ [ 210° ]

A-8

1  にあてはまることばや記号や数字をかきましょう。(3点×6)

(1) 直線が辺アイの位置からアウの位置までまわってできる形を  といいます。



(2) 角の大きさをはかるには、 を使います。

(3) 角の大きさのことを  ともいいます。

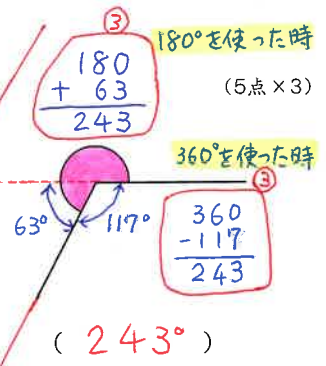
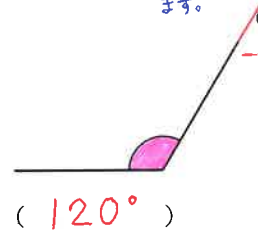
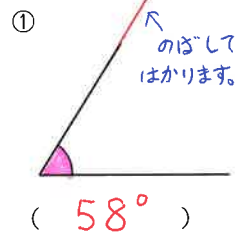
(4) 直角の大きさは  ° です。

(5) 半回転の角の大きさは  ° です。

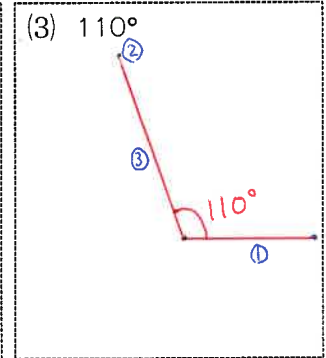
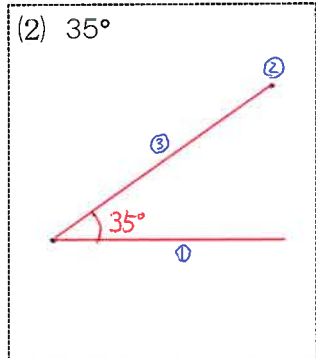
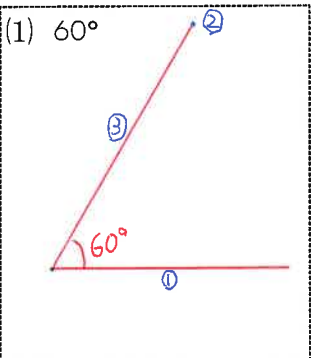
(6) 1回転の角の大きさは  ° です。



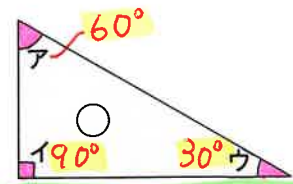
2 次の角の大きさをはかりましょう。(5点×3)



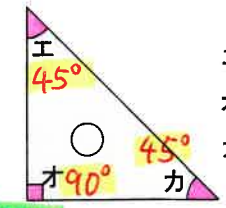
3 次の大きさの角をかきましょう。(A-5)のプリントを見てください。(5点×3)



4 角の大きさをかきましょう。(2点×6)



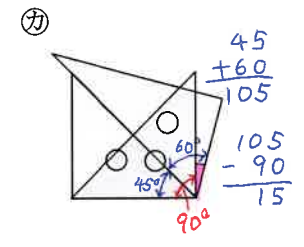
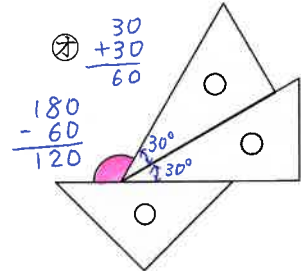
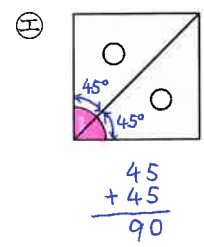
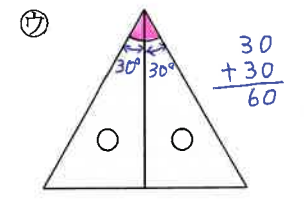
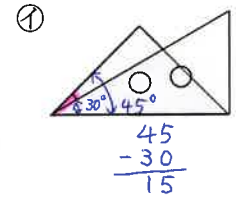
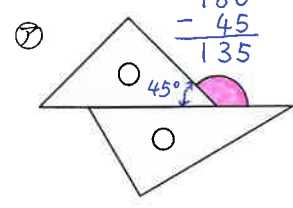
ア [ 60° ]  
イ [ 90° ]  
ウ [ 30° ]



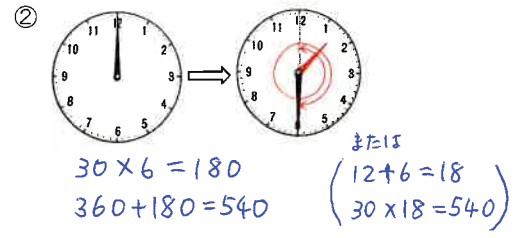
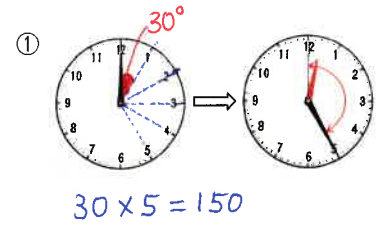
エ [ 45° ]  
オ [ 90° ]  
カ [ 45° ]

★まだ覚えていない人は、ここで覚えて下さい。

5 2組の三角じょうぎを使って、㉑～㉓の角を作りました。それぞれ何度ですか。(5点×6)



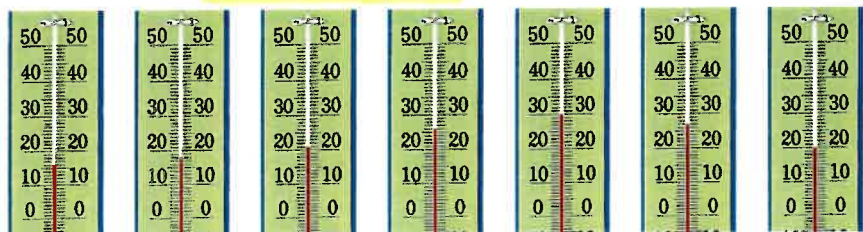
6 12時から次の時こくまでに時計の、長いはりが回転する角度は何度ですか。(5点×2)



⑥ 折れ線グラフを用いると、伴って変わる2つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができる。

**6** 基本 折れ線グラフ 変わり方を表すグラフ 学習日 /

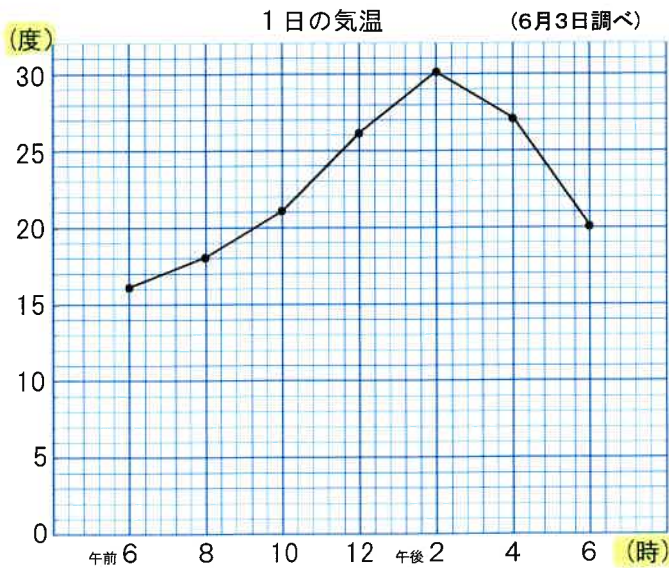
1 しおりさんは、1日の気温の変わり方を調べようと思って、2時間ごとの気温をはかりました。



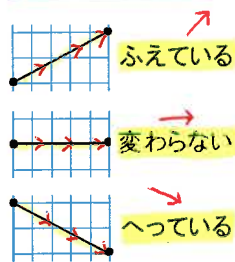
(1) それぞれの時ごとの気温を表にかいてみましょう。(10点)

| 1日の気温  |      | (6月3日調べ) |    |    |      |    |    |
|--------|------|----------|----|----|------|----|----|
| 時こく(時) | 午前 6 | 8        | 10 | 12 | 午後 2 | 4  | 6  |
| 気温(度)  | 16   | 18       | 21 | 26 | 30   | 27 | 20 |

(2) 下のグラフは、気温が変わっていくようすをグラフに表したものです。



左のようなグラフをおせん折れ線グラフといます。折れ線グラフでは、線のかたむきぐあいで、変わり方のようすがわかります。



① 横、たての目もりは、何を表していますか。(5点×2)

横[時こく]、たて[気温]

② 上のグラフを見て、気温がどのように変わっていったかをかきましよう。(10点)

(例) 午前6時から午後2時までには気温は上がっているが、午後2時からには下がっていった。

⑥ 折れ線グラフの線の傾きから変化の様子をよみよう。



2 下のグラフは、2時間ごとに地面の温度を調べたものです。

(1) 午前10時の地面の温度は何度ですか。 [ 19度 ]

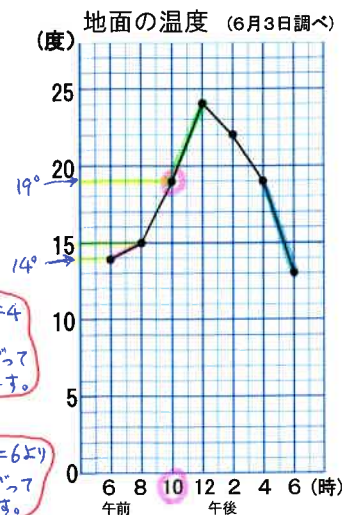
(2) 午前6時から午前8時までの2時間で、地面の温度は何度あがりましたか。 [ 1度 ]

(3) 地面の温度の上がり方がいちばん大きいのは、何時から何時までの間ですか。

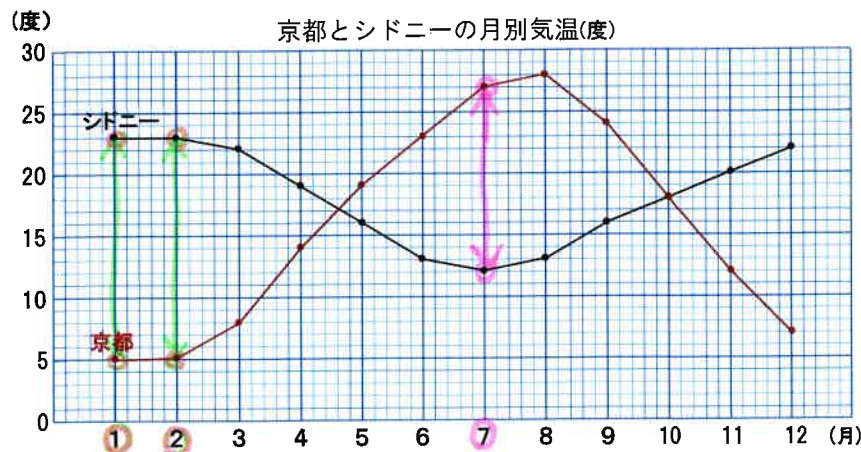
[ 午前10時から午前12時までの間 (午後0時) ]

(4) 地面の温度の下がり方がいちばん大きいのは、何時から何時までの間ですか。

[ 午後4時から午後6時までの間 ]



3 下のグラフは、京都とシドニーの月別の気温を調べたものです。(10点×3)



(1) 7月の京都とシドニーの気温のちがいは何度ですか。 [ 15度 ]

(2) 気温の差がもっとも大きいのは、何月と何月ですか。 [ 1月と2月 ]

(3) 2つの折れ線グラフを見て、気がついたことをかきましよう。

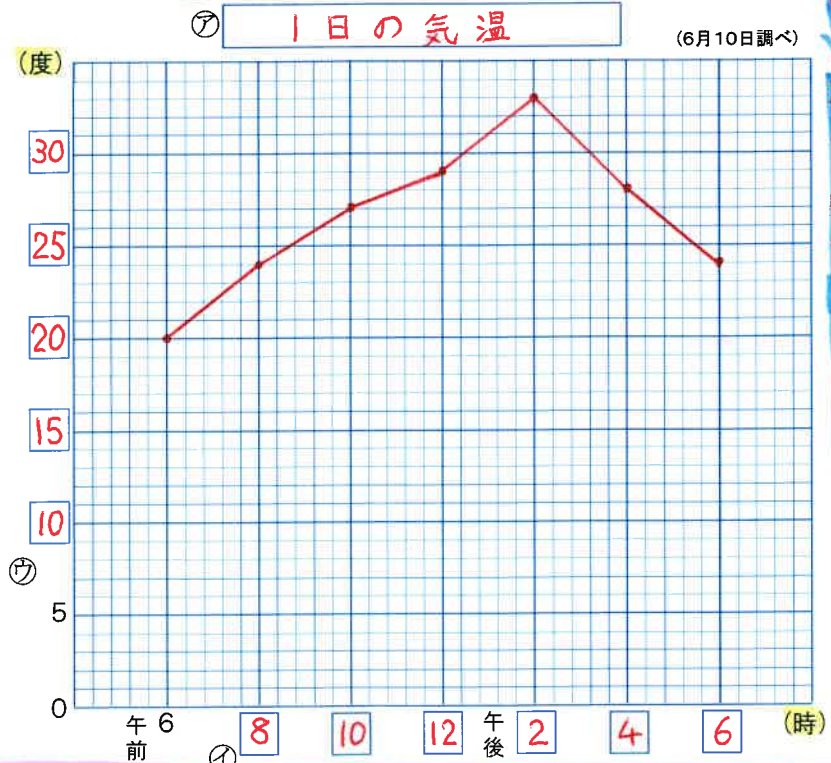
(例) 〇10月の気温は同じです。  
〇シドニーが暑いのは1月、2月で、この時京都はいちばん寒い時です。

② 表から折れ線グラフを作ることができる。

|          |    |               |            |          |
|----------|----|---------------|------------|----------|
| <b>7</b> | 基本 | <b>折れ線グラフ</b> | 折れ線グラフのかき方 | 学習日<br>/ |
|----------|----|---------------|------------|----------|

1 下の表は、あやほさんが調べた1日の気温です。これを折れ線グラフにかきましょう。

|        |      |                 |    |    |      |    |    |
|--------|------|-----------------|----|----|------|----|----|
|        |      | 1日の気温 (6月10日調べ) |    |    |      |    |    |
| 時こく(時) | 午前 6 | 8               | 10 | 12 | 午後 2 | 4  | 6  |
| 気温(度)  | 20   | 24              | 27 | 29 | 33   | 28 | 24 |



時こくの目盛り(時)は7個必要です。20度と33度が表せるように目盛りを付けます。

- 折れ線グラフのかき方**
- (1) ①に表題をかきましょう。(5点) **※目通りのつけ方に気をつけて!**
- (2) ①の横に時こくをとり、目もりをつけましょう。単位もつけて下さい。(時) (5点)
- (3) ①のたてに気温をとり、目もりをつけましょう。単位もつけて下さい。(度) (5点)
- (4) それぞれの時こくの気温を表す点をうちましょう。(20点)
- (5) 点を順に直線でつなぎましょう。(15点)

② 変化の様子がわかりやすくなるように目盛りの大きさを考えて折れ線グラフを作る。

2 下の表は、りょうじ君がかぜをひいたときの体温を2時間ごとにはかったものです。

りょうじ君の体温

|        |      |      |      |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 時こく(時) | 午前 6 | 8    | 10   | 12   | 午後 2 | 4    | 6    |
| 体温(度)  | 37.1 | 37.5 | 38.4 | 38.8 | 38.6 | 37.8 | 36.9 |



(1) りょうじ君の体温の変わり方を、折れ線グラフにかきましょう。(15点)

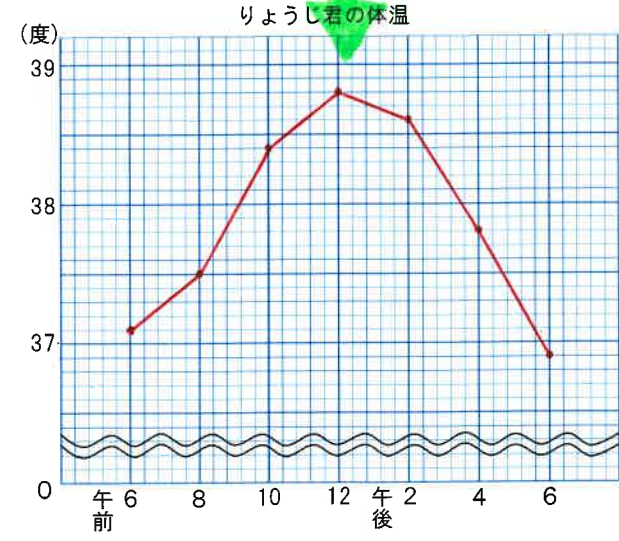
折れ線の上がり下がりが小さくて、変わり方のようすがよくわからないなあ。



変わりがよくわかるようにするには、目もりをどのようにつけばいいのか考えさせてください。

(2) 体温の変わり方が、もっとよくわかるようなグラフを下にかきましょう。(15点)

~~~~~は、一部分を省いてある印です。



(3) 上と下のグラフをくらべて、気がついたことをかきましょう。(20点)

(例) 下のグラフの方が、変わり方のようすがよくわかります。

1 折れ線グラフに表すとよいものに○、棒グラフに表すとよいものに△をつけましょう。(5点×4)

- ① 午前9時の京都のいろいろな場所の気温 → 比較 → 棒グラフ ……( △ )
- ② 水を温めているときの水の温度の変わり方 → 変化 → 折れ線グラフ ……( ○ )
- ③ 月曜日から金曜日までの、4年生全体のけっせき者の人数 ……( △ )
- ④ 1才から10才までの、けんじ君の体重の変わり方 ……( ○ )

2 下のグラフは、折れ線グラフの変わり方のようすを表したものです。変わり方のようすを説明しているものをえらんで、記号で答えましょう。(5点×3)

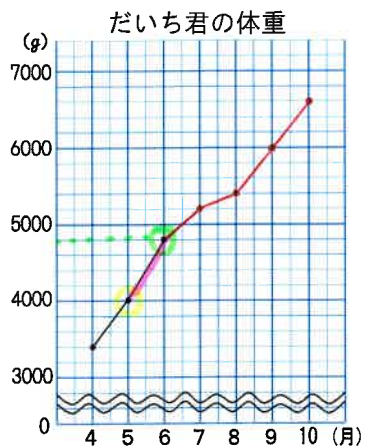
- ① (㊦)
- ② (㊥)
- ③ (㊧)

㊦ ふえる(上がる)    ㊥ へる(下がる)    ㊧ 変わらない

3 下の表と折れ線グラフは、赤ちゃんの体重を調べたものです。(5点×4)

だいち君の体重

| 月     | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 体重(g) | 3400 | 4000 | 4800 | 5200 | 5400 | 6000 | 6600 |

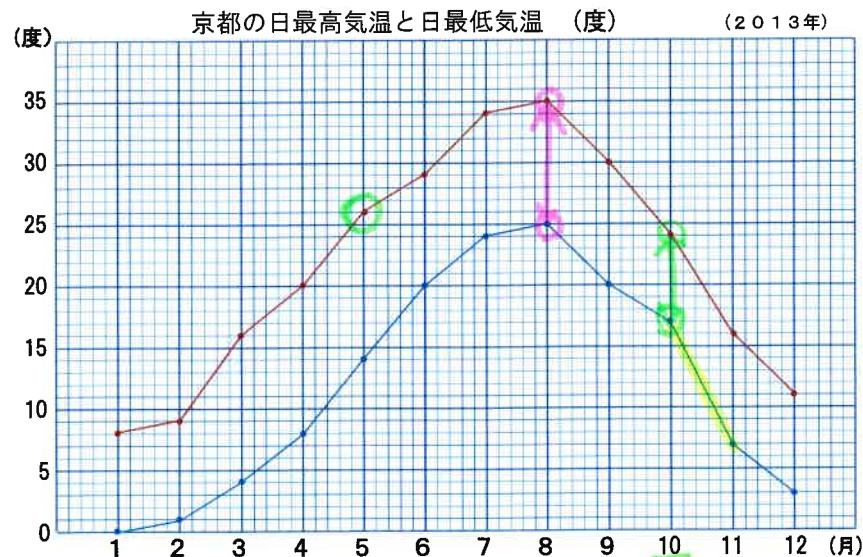


- ① 表のあいているところに数字をかきましょう。
- ② グラフの続きをかきましょう。
- ③ たての1目もりは何gを表していますか。  
5目もり → 1000g 目盛り。  
 $1000 \div 5 = 200(g)$  [ 200 g ]
- ④ 体重のふえ方が一番大きいのは、何月から何月の間ですか。

[ 5 月から 6 月の間 ]

⑩ 2つのグラフを関連つけて、どんなことがわかるかを考えたり、説明したりする。

4 下のグラフは、京都の日最高気温と日最低気温の平均の変化を調べたものです。(5点×6)



(1) 5月の京都の日最高気温は何度ですか。 [ 26 度 ]

(2) 8月の京都の日最高気温と日最低気温の差は何度ですか。  
 $35 - 25 = 10(度)$   
(グラフから読みとってよい) [ 10 度 ]

(3) 気温の差がいちばん小さいのは、何月で、何度ですか。  
 $24 - 17 = 7(度)$   
⑤ 1月-8度差, 2月-8度差, 12月-8度差 [ 10 月 ], [ 7 度 ]

(4) 日最低気温の下がり方が一番大きいのは、何月から何月の間で、何度ですか。  
 $17 - 7 = 10(度)$  [ 10 月から 11 月の間 ] [ 10 度 ]

(5) 日最高気温と日最低気温のグラフをくらべて、気がついたことをかきましょう。(15点)

- (例)
- 日最高気温が高い月は、日最低気温も高くなっています。
  - (日最高気温が低い月は、日最低気温も低くなっています。)
  - 3月から5月ごろ、日最高気温と日最低気温の差が大きく、10月ごろ差が小さくなります。

◎ 具体物を使った計算の仕方をもとに、(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。

**9 基本 わり算の筆算** (2けた)÷(1けた)の筆算 学習日 /

1 78円のお金を、3人で同じように分けると、1人分は何円になりますか。(5点×4)



- (1) 式は、 $78 \div 3$  になります。 **18円を3人で分ける**
- (2) 70円を3人で分けると、 $7 \div 3 = 2 \dots 1$ より、1人分は **20**円で、**10**円残ります。
- (3) 残った10円と8円を合わせた **18円を3人で分ける**、  
 $18 \div 3 = 6$  より、1人分は **6**円になります。
- (4) 1人分は **20**円と **6**円を合わせて、26円。 答え〔 26円 〕

2 78÷3の筆算のしかたを考えましょう。(2点×10)

- (1) 十の位は  $7 \div 3$  で、**2** をたてて。
- (2) 3に2をかけて、**6**。7から**6**をひいて**1**。
- (3) 一の位の**8**をおろす。
- (4)  $18 \div 3$  で、**6** をたてて。3に6をかけて、**18**。18から18をひいて、**0**。

★  $78 \div 3 = 26$  となります。  
**筆算のやり方を覚えて下さい。**

3 72本のえんぴつを、4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何本になりますか。(10点)

(式)  $72 \text{ (本)} \div 4 = 18 \text{ (本)}$

答え〔 18本 〕

◎ 筆算は、大きい位から、**たてる**→**かける**→**ひく**→**おろす**の順に計算する。

4 (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。①→⑩の順にやりな。 (3点×10)

★ (例)  $274 \div 2 = 137$

①  $36 \div 2 = 18$

②  $345 \div 3 = 115$

③  $684 \div 6 = 114$

④  $565 \div 5 = 113$

⑤  $496 \div 4 = 124$

⑥  $791 \div 7 = 113$  (ここまで同じやり方です。)

⑦  $580 \div 5 = 116$  (0をおろす)

⑧  $284 \div 2 = 142$  (ひいた数が0になる筆算)

⑨  $393 \div 3 = 131$  (同じやり方)

⑩  $660 \div 6 = 110$  (1の位に0をたてる筆算。7...0をおろす、1...0の中にはないので、1の位に0をたてる。4...6×0=0で、0-0=0になる。もちろん、考えなくてもよい。)

5 96まいの色紙を、1人に4まいずつ配ります。何人に配ることができますか。(10点)

(式)  $96 \text{ (まい)} \div 4 \text{ (まい)} = 24$

答え〔 24人 〕

6 70このクリを、5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。(10点)

(式)  $70 \text{ (こ)} \div 5 = 14 \text{ (こ)}$

答え〔 14こ 〕

② 余りのある(2位数)÷(1位数)の筆算と、答えの確かめができる。

|    |    |        |                     |     |   |
|----|----|--------|---------------------|-----|---|
| 10 | 基本 | わり算の筆算 | (2けた)÷(1けた)の筆算-余りあり | 学習日 | / |
|----|----|--------|---------------------|-----|---|

1 88まいの画用紙を、1人に6まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまりますか。式をたて、筆算のしかたを考えましょう。(20点:1カ所につき1点減)

(式)  $88 \div 6$

**筆算**

|   |      |
|---|------|
| 1 | 4    |
| 6 | ) 88 |
| 6 | 0    |
| 2 | 8    |
| 2 | 4    |
| 4 | 4    |

- (1) 十の位は  $8 \div 6$  で、**1** をたてて、
- (2) **6** に **1** をかけて、**6**  
8から**6**をひいて、**2**
- (3) 一の位の**8**をおろす
- (4)  $28 \div 6$  で、**4** をたてて  
**6** に **4** をかけて **24**  
28から24をひいて、**4** ← 余り



★  $88 \div 6 = 14$  余り  $4$  となります。

わる数 14 商 4 余り 4  
答え [ 14 人に分けられて 4 まいあまる。 ]

★ **答えのたしかめ**  $6 \times 14 + 4 = 88$  **大切**  
[わる数] [商] [余り] [わられる数]

2 65このみかんを、1人に4こずつ配ると、何人に分けられて、何こあまりますか。答えのたしかめもしましょう。(15点)

(式)  $65 \div 4 = 16$  余り  $1$

|    |      |
|----|------|
| 16 |      |
| 4  | ) 65 |
| 4  | 0    |
| 25 | 5    |
| 24 | 1    |

(たしかめ)  $4 \times 16 + 1 = 65$  答え [ 16 人に分けられて 1 こあまる。 ]

3 73cmのひごがあります。5cmの長さのひごが何本作れて、何cmあまりますか。答えのたしかめもしましょう。(15点)

(式)  $73 \div 5 = 14$  余り  $3$  (cm)

|    |      |
|----|------|
| 14 |      |
| 5  | ) 73 |
| 5  | 0    |
| 23 | 3    |
| 20 | 3    |

(たしかめ)  $5 \times 14 + 3 = 73$  答え [ 14 本作れて 3 cmあまる。 ]

4 (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。①→⑩の順にやろう。(3点×10)

(例) 

|    |      |
|----|------|
| 15 |      |
| 4  | ) 63 |
| 4  | 0    |
| 23 | 3    |
| 20 | 3    |

 ① 

|    |      |
|----|------|
| 17 |      |
| 5  | ) 86 |
| 5  | 0    |
| 36 | 6    |
| 35 | 1    |

 ② 

|    |      |
|----|------|
| 36 |      |
| 2  | ) 73 |
| 6  | 0    |
| 13 | 3    |
| 12 | 1    |

 ③ 

|    |      |
|----|------|
| 11 |      |
| 8  | ) 94 |
| 8  | 0    |
| 14 | 4    |
| 8  | 0    |

 ← かけた数が1けたになる

④ 

|    |      |
|----|------|
| 27 |      |
| 3  | ) 83 |
| 6  | 0    |
| 23 | 3    |
| 21 | 2    |

 ⑤ 

|    |      |
|----|------|
| 13 |      |
| 7  | ) 95 |
| 7  | 0    |
| 25 | 5    |
| 21 | 4    |

 ⑥ 

|    |      |
|----|------|
| 22 |      |
| 4  | ) 90 |
| 8  | 0    |
| 10 | 0    |
| 8  | 0    |

 ⑦ 

|    |      |
|----|------|
| 11 |      |
| 6  | ) 70 |
| 6  | 0    |
| 10 | 0    |
| 6  | 0    |

 ← かけた数が0になる筆算

⑧ 

|    |      |
|----|------|
| 11 |      |
| 5  | ) 57 |
| 5  | 0    |
| 7  | 7    |
| 5  | 0    |

 ⑨ 

|    |      |
|----|------|
| 42 |      |
| 2  | ) 85 |
| 8  | 0    |
| 5  | 5    |
| 4  | 0    |

 ⑩ 

|    |      |
|----|------|
| 10 |      |
| 9  | ) 93 |
| 9  | 0    |
| 3  | 3    |

 ← ここに0をわすれないで。

この0はなれたら書かなくてもいい

5 77さつノートを、1人に3さつずつ配ると、何人に分けられて、何さつあまりますか。(10点)

(式)  $77 \div 3 = 25$  余り  $2$

|    |      |
|----|------|
| 25 |      |
| 3  | ) 77 |
| 6  | 0    |
| 17 | 7    |
| 15 | 2    |

答え [ 25 人に分けられて 2 さつあまる。 ]

6 90cmのはり金があります。8cmの長さのはり金が何本作れて、何cmあまりますか。(10点)

(式)  $90 \div 8 = 11$  余り  $2$  (cm)

|    |      |
|----|------|
| 11 |      |
| 8  | ) 90 |
| 8  | 0    |
| 10 | 0    |
| 8  | 0    |

答え [ 11 本作れて 2 cmあまる。 ]

◎ (3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える。

|    |    |        |                   |     |   |
|----|----|--------|-------------------|-----|---|
| 11 | 基本 | わり算の筆算 | (3けた)÷(1けた)の筆算-1) | 学習日 | / |
|----|----|--------|-------------------|-----|---|

1 867÷3の筆算のしかたを考えましょう。(20点)

**筆算**

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | ア | オ | コ |
|    | 2 | 8 | 9 |
| 3) | 8 | 6 | 7 |
|    | 6 |   |   |
|    | 1 | 5 |   |
|    | 1 | 4 |   |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   |   | 0 |

- 百の位は8÷3で、ア2をたてて、
  - 3に2をかけてイ6、8からイ6をひいて、2
  - 十の位の6をおろす
  - 26÷3で、十の位にオ8をたてて、  
3に8をかけてカ2・キ4、26から24をひいて、2
  - 一の位の7をおろす
  - 27÷3で、一の位にコ9をたてて、  
3に9をかけてサ2・シ7、27から27をひいて、0
- ★ 867÷3 = 289 となります。

2 次の筆算をしましょう。(5点×6)

(1)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 6 | 8 |   |
| 4) | 6 | 7 | 4 |
|    | 4 |   |   |
|    | 2 | 7 |   |
|    | 2 | 4 |   |
|    |   | 3 | 4 |
|    |   | 3 | 2 |
|    |   |   | 2 |

(2)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 1 | 7 |   |
| 7) | 8 | 2 | 2 |
|    | 7 |   |   |
|    | 1 | 2 |   |
|    |   | 7 |   |
|    |   | 5 | 2 |
|    |   | 4 | 9 |
|    |   |   | 3 |

(3)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 0 | 7 |   |
| 5) | 5 | 3 | 9 |
|    | 5 |   |   |
|    |   | 3 |   |
|    |   | 0 |   |
|    |   | 3 | 9 |
|    |   | 3 | 5 |
|    |   |   | 4 |

ふつうは書かない。  
⑦...0は書かない。  
⑧...3をおろす。  
⑨...3は5でわれないから0をたてて。  
⑩...5×0=0  
⑪...3-0=3  
計算を省く時は⑧3を省いて、⑩に3をおろします。

(4)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 4  | 6 |   |   |
| 6) | 2 | 7 | 6 |
|    | 2 | 4 |   |
|    |   | 3 | 6 |
|    |   | 3 | 6 |
|    |   |   | 0 |

⑦ 2は6でわれないので、  
⑧ 27÷6で4をたてる。

(5)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 6  | 7 |   |   |
| 3) | 2 | 0 | 3 |
|    | 1 | 8 |   |
|    |   | 2 | 3 |
|    |   | 2 | 1 |
|    |   |   | 2 |

A-21

(6)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 7  | 0 |   |   |
| 8) | 5 | 6 | 7 |
|    | 5 | 6 |   |
|    |   | 7 |   |
|    |   | 0 |   |
|    |   | 7 |   |

ふつうは書かない。  
⑦...7は8でわれないから、  
⑧に0をたてる。  
⑨に0をおろすに書きましょう。

例) にならって、番号順に練習して下さい。

3 (例)にならって、次の計算を筆算でしましょう。(4点×10)

(例)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 3  | 7 | 8 |   |
| 2) | 7 | 5 | 6 |
|    | 6 |   |   |
|    | 1 | 5 |   |
|    | 1 | 4 |   |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   |   | 0 |

①

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 5 | 8 |   |
| 4) | 6 | 3 | 2 |
|    | 4 |   |   |
|    | 2 | 3 |   |
|    | 2 | 0 |   |
|    |   | 3 | 2 |
|    |   | 3 | 2 |
|    |   |   | 0 |

②

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 3 | 6 |   |
| 7) | 9 | 5 | 7 |
|    | 7 |   |   |
|    | 2 | 5 |   |
|    | 2 | 1 |   |
|    |   | 4 | 7 |
|    |   | 4 | 2 |
|    |   |   | 5 |

③

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 1 | 8 |   |
| 6) | 7 | 1 | 3 |
|    | 6 |   |   |
|    | 1 | 1 |   |
|    |   | 6 |   |
|    |   | 5 | 3 |
|    |   | 4 | 8 |
|    |   |   | 5 |

(例)

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 6 | 8 |   |
| 5) | 3 | 4 | 1 |
|    | 3 | 0 |   |
|    |   | 4 | 1 |
|    |   | 4 | 0 |
|    |   |   | 1 |

④

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 6 | 5 |   |
| 9) | 5 | 8 | 5 |
|    | 5 | 4 |   |
|    |   | 4 | 5 |
|    |   | 4 | 5 |
|    |   |   | 0 |

⑤

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 8 | 7 |   |
| 3) | 2 | 6 | 2 |
|    | 2 | 4 |   |
|    |   | 2 | 2 |
|    |   | 2 | 1 |
|    |   |   | 1 |

⑥

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 7 | 5 |   |
| 8) | 6 | 0 | 4 |
|    | 5 | 6 |   |
|    |   | 4 | 4 |
|    |   | 4 | 0 |
|    |   |   | 4 |

⑦

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 2  | 0 | 9 |   |
| 4) | 8 | 3 | 6 |
|    | 8 |   |   |
|    |   | 3 | 6 |
|    |   | 3 | 6 |
|    |   |   | 0 |

⑧

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 2 | 0 |   |
| 7) | 8 | 4 | 3 |
|    | 7 |   |   |
|    |   | 1 | 4 |
|    |   | 1 | 4 |
|    |   |   | 3 |

⑨

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 4 | 2 |   |
| 5) | 2 | 1 | 4 |
|    | 2 | 0 |   |
|    |   | 1 | 4 |
|    |   | 1 | 0 |
|    |   |   | 4 |

⑩

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 6 | 0 |   |
| 8) | 4 | 8 | 7 |
|    | 4 | 8 |   |
|    |   | 7 |   |

4 656まいの画用紙を、4クラスに同じ数ずつ分けると、1クラス分は何まいになりますか。(10点)

(式)  $656 \div 4 = 164$  (まい)

答え 164まい

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1  | 6 | 4 |   |
| 4) | 6 | 5 | 6 |
|    | 4 |   |   |
|    | 2 | 5 |   |
|    | 2 | 4 |   |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   | 1 | 6 |
|    |   |   | 0 |

A-22

◎ (3位数)÷(1位数)の筆算の練習

|    |    |        |                    |     |  |
|----|----|--------|--------------------|-----|--|
| 12 | 基本 | わり算の筆算 | (3けた)÷(1けた)の筆算-(2) | 学習日 |  |
|----|----|--------|--------------------|-----|--|

1 次の計算を筆算でしましょう。 A-22 ③の練習(少し順序をくずしています)(4点×12)

|                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① $\begin{array}{r} 179 \\ 2 \overline{) 2358} \\ \underline{2} \phantom{00} \\ 15 \phantom{00} \\ \underline{14} \phantom{00} \\ 18 \phantom{00} \\ \underline{18} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 148 \\ 5 \overline{) 5742} \\ \underline{5} \phantom{00} \\ 24 \phantom{00} \\ \underline{20} \phantom{00} \\ 42 \phantom{00} \\ \underline{40} \phantom{00} \\ 2 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 117 \\ 6 \overline{) 6706} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 10 \phantom{00} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 46 \phantom{00} \\ \underline{42} \phantom{00} \\ 4 \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 275 \\ 3 \overline{) 3825} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 22 \phantom{00} \\ \underline{21} \phantom{00} \\ 15 \phantom{00} \\ \underline{15} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$ |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤ $\begin{array}{r} 24 \\ 7 \overline{) 7168} \\ \underline{14} \phantom{00} \\ 28 \phantom{00} \\ \underline{28} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$ | ⑥ $\begin{array}{r} 75 \\ 4 \overline{) 4303} \\ \underline{28} \phantom{00} \\ 23 \phantom{00} \\ \underline{20} \phantom{00} \\ 3 \end{array}$ | ⑦ $\begin{array}{r} 64 \\ 9 \overline{) 9581} \\ \underline{54} \phantom{00} \\ 41 \phantom{00} \\ \underline{36} \phantom{00} \\ 5 \end{array}$ | ⑧ $\begin{array}{r} 81 \\ 8 \overline{) 8650} \\ \underline{64} \phantom{00} \\ 10 \phantom{00} \\ \underline{8} \phantom{00} \\ 2 \end{array}$ |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                  |                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑨ $\begin{array}{r} 104 \\ 6 \overline{) 6624} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 24 \phantom{00} \\ \underline{24} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$ | ⑩ $\begin{array}{r} 51 \\ 5 \overline{) 5257} \\ \underline{25} \phantom{00} \\ 7 \phantom{00} \\ \underline{5} \phantom{00} \\ 2 \end{array}$ | ⑪ $\begin{array}{r} 240 \\ 4 \overline{) 4963} \\ \underline{8} \phantom{00} \\ 16 \phantom{00} \\ \underline{16} \phantom{00} \\ 3 \end{array}$ | ⑫ $\begin{array}{r} 70 \\ 7 \overline{) 7494} \\ \underline{49} \phantom{00} \\ 4 \phantom{00} \end{array}$ |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2 378まいの色紙を7人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。(10点)

(式)  $378 \div 7 = 54$  (まい) (まい)

$$\begin{array}{r} 54 \\ 7 \overline{) 378} \\ \underline{35} \phantom{00} \\ 28 \phantom{00} \\ \underline{28} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 54まい 〕

3 テープを8m買うと360円でした。1mのねだんは何円ですか。(10点)

(式)  $360_{(円)} \div 8 = 45_{(円)}$

$$\begin{array}{r} 45 \\ 8 \overline{) 360} \\ \underline{32} \phantom{00} \\ 40 \phantom{00} \\ \underline{40} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 45円 〕

4 はる子さんは、 $857 \div 3$ の計算のまちがいを左下のように説明しています。(10点)

★  $585 \div 4$ の計算のまちがいを説明してみましょう。

あまりがわる数の3よりも大きいのはまちがいです。商の一の位は4ではなく、5をたてます。

$$\begin{array}{r} 28 \\ 3 \overline{) 857} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 25 \phantom{00} \\ \underline{24} \phantom{00} \\ 17 \phantom{00} \\ \underline{15} \phantom{00} \\ 2 \end{array}$$

15 → 12  
2 → 5

あまりがわる数の4よりも大きいのはまちがいです。商の一の位は5ではなく、6をたてます。

$$\begin{array}{r} 145 \\ 4 \overline{) 585} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 18 \phantom{00} \\ \underline{16} \phantom{00} \\ 25 \phantom{00} \\ \underline{20} \phantom{00} \\ 5 \end{array}$$

5 商が2けたになるのは、□にどんな数をあてはめたときですか。(10点)

□に1が入った時、百の位に商はたちません。

□に2以上が入った時、百の位に商がたちます。

答え〔 1 〕

$2 \overline{) \square 53}$

$$\begin{array}{r} 76 \\ 2 \overline{) 153} \\ \underline{14} \phantom{00} \\ 13 \phantom{00} \\ \underline{12} \phantom{00} \\ 1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 126 \\ 2 \overline{) 253} \\ \underline{2} \phantom{00} \\ 5 \phantom{00} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 13 \phantom{00} \\ \underline{12} \phantom{00} \\ 1 \end{array}$$

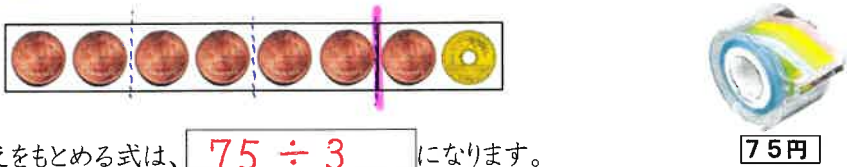
6 商が2けたになるまでに色をぬりましょう。(12点)

|                      |                      |                      |                      |                      |                      |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| $3 \overline{) 126}$ | $4 \overline{) 367}$ | $2 \overline{) 769}$ | $5 \overline{) 648}$ | $8 \overline{) 564}$ | $7 \overline{) 674}$ |
| $5 \overline{) 837}$ | $2 \overline{) 886}$ | $8 \overline{) 168}$ | $4 \overline{) 357}$ | $3 \overline{) 745}$ | $6 \overline{) 906}$ |
| $7 \overline{) 644}$ | $5 \overline{) 305}$ | $3 \overline{) 587}$ | $9 \overline{) 994}$ | $6 \overline{) 444}$ | $8 \overline{) 597}$ |
| $2 \overline{) 862}$ | $8 \overline{) 911}$ | $3 \overline{) 106}$ | $5 \overline{) 413}$ | $3 \overline{) 609}$ | $4 \overline{) 745}$ |

◎ 簡単な(2位数)÷(1位数)を暗算で計算することができる。

|    |    |        |    |     |   |
|----|----|--------|----|-----|---|
| 13 | 基本 | わり算の筆算 | 暗算 | 学習日 | / |
|----|----|--------|----|-----|---|

1 75円のテープを、3人で同じようにお金を出しあって買うことにしました。1人何円出せばよいですか。暗算でしてみましょう。(4点×4)



- (1) 答えをもとめる式は、 $75 \div 3$  になります。
- (2) 10円玉は、 $7 \div 3 = 2$  あり  $1$  で、1人20円ずつになります。
- (3) 残りは15円だから、 $15 \div 3 = 5$  で、1人5円ずつになります。
- (4) 合わせると、 $20 + 5 = 25$  円になります。 答え〔 25 円 〕

2 お金を見て、次のわり算を暗算でしましょう。(4点×3)

(1)  $62 \div 2$

(2)  $85 \div 5$

(3)  $78 \div 3$

3 つぎのわり算をしましょう。(暗算でしましょう。)(2点×11)

- |                            |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ① $86 \div 2 = 43$<br>40+3 | ② $63 \div 3 = 21$<br>20+1 | ③ $48 \div 4 = 12$<br>10+2 |
| ④ $96 \div 3 = 32$<br>30+2 | ⑤ $84 \div 4 = 21$<br>20+1 | ⑥ $77 \div 7 = 11$<br>10+1 |
| ⑦ $45 \div 3 = 15$<br>10+5 | ⑧ $65 \div 5 = 13$<br>10+3 | ⑨ $58 \div 2 = 29$<br>20+9 |
| ⑩ $96 \div 4 = 24$<br>20+4 | ⑪ $78 \div 3 = 26$<br>20+6 |                            |



4 84円の色紙を、4人で同じようにお金を出しあって買うことにしました。1人何円出せばよいですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $84 \text{ (円)} \div 4 = 21 \text{ (円)}$   
 頭の中... (20+1=21) 暗算の考え方  
 答え〔 21 円 〕

5 6こで72円のアメがあります。このアメ1このねだんは何円ですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $72 \text{ (円)} \div 6 = 12 \text{ (円)}$   
 (10+2=12)  
 答え〔 12 円 〕

6 長さが84cmのテープがあります。このテープを7cmずつに切ると、7cmのテープが何本できますか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $84 \text{ (cm)} \div 7 \text{ (cm)} = 12$   
 (10+2=12)  
 答え〔 12 本 〕

7 32mのクジラの体長は、2mのイルカの体長の何倍ですか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $32 \text{ (m)} \div 2 \text{ (m)} = 16$   
 (10+6=16)  
 答え〔 16 倍 〕

8 60本のえんぴつを、1人に4本ずつくばっていきます。何人にくばることができますか。(計算は暗算でしましょう。)(10点)

(式)  $60 \text{ (本)} \div 4 \text{ (本)} = 15$   
 (10+5=15)  
 答え〔 15 人 〕

1 つぎのわり算をしましょう。(答えが何十・何百になる計算) H.23版より (2点×9)

- ①  $80 \div 2 = 40$       ②  $90 \div 3 = 30$       ③  $600 \div 6 = 100$   
 ④  $140 \div 7 = 20$       ⑤  $350 \div 5 = 70$       ⑥  $560 \div 7 = 80$   
 ⑦  $300 \div 5 = 60$       ⑧  $300 \div 6 = 50$       ⑨  $1200 \div 4 = 300$

2 次の計算を筆算でしましょう。(A-17~A-20の復習) (3点×8)

|                                                                                                                    |                                                                                                                    |                                                                                                                    |                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① $\begin{array}{r} 13 \\ 5 \overline{) 65} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 13 \\ 7 \overline{) 91} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 21 \\ 4 \overline{) 84} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$ |
| ⑤ $\begin{array}{r} 28 \\ 2 \overline{) 57} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{16} \\ 1 \end{array}$ | ⑥ $\begin{array}{r} 13 \\ 6 \overline{) 80} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{18} \\ 2 \end{array}$ | ⑦ $\begin{array}{r} 18 \\ 3 \overline{) 55} \\ \underline{3} \phantom{0} \\ 25 \\ \underline{24} \\ 1 \end{array}$ | ⑧ $\begin{array}{r} 10 \\ 8 \overline{) 86} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 6 \end{array}$                       |

3  にあてはまる数やことばをかきましょう。(A-17) (2点×6)

$$\begin{array}{r} 47 \\ 2 \overline{) 94} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$$

- ①  $\boxed{9} \div \boxed{2}$  で、4をたてる。  
 ② 2に  $\boxed{4}$  をかけて8  
 ③ 9から8を **ひいて** 1、4を **おろす**。  
 ④  $\boxed{14} \div \boxed{2}$  で、7をたてる。  
 ⑤ 2に  $\boxed{7}$  をかけて14  
 ⑥ 14から14を **ひいて** 0

4 次の計算を筆算でしましょう。(A-21~A-24の復習) (3点×8)

|                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                      |                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① $\begin{array}{r} 159 \\ 4 \overline{) 636} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 23 \phantom{0} \\ \underline{20} \phantom{0} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 134 \\ 7 \overline{) 938} \\ \underline{7} \phantom{00} \\ 23 \phantom{0} \\ \underline{21} \phantom{0} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 235 \\ 3 \overline{) 707} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 10 \phantom{0} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{15} \\ 2 \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 100 \\ 6 \overline{) 604} \\ \underline{6} \phantom{00} \\ 4 \end{array}$ |
| ⑤ $\begin{array}{r} 73 \\ 5 \overline{) 365} \\ \underline{35} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$                                                  | ⑥ $\begin{array}{r} 34 \\ 8 \overline{) 273} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 33 \\ \underline{32} \\ 1 \end{array}$                                                  | ⑦ $\begin{array}{r} 61 \\ 7 \overline{) 429} \\ \underline{42} \phantom{0} \\ 9 \\ \underline{7} \\ 2 \end{array}$                                                   | ⑧ $\begin{array}{r} 90 \\ 9 \overline{) 812} \\ \underline{81} \phantom{0} \\ 2 \end{array}$  |

5  $83 \div 3$  の筆算の答えのたしかめをします。(A-19の復習)  にあてはまる数やことばをかきましょう。(4点×2)

$$\begin{array}{r} 27 \\ 3 \overline{) 83} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 23 \\ \underline{21} \\ 2 \end{array}$$

$$3 \times 27 + \boxed{2} = 83$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数

6 商が2けたになるのは、 にどんな数をあてはめたときですか。(A-24) (7点×2)

(1)  $4 \overline{) \square 37}$       答え(  $1, 2, 3$  )  
 ↑  
 4を入れると、百の位が1になります。

(2)  $7 \overline{) \square 51}$       答え(  $1, 2, 3, 4, 5, 6$  )  
 ↑  
 7を入れると、百の位が1になります。

② 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深める。

|    |    |         |     |     |   |
|----|----|---------|-----|-----|---|
| 15 | 基本 | 一億をこえる数 | 億と兆 | 学習日 | / |
|----|----|---------|-----|-----|---|

1 数のしくみを考えて、空らんにかきましよう。(2点+3点×11)

1の10倍は10、10の10倍は100、100の10倍は1000となる仕組みと、1万の10倍は同じですね。

10倍すると、位が1つ上がります。

| 兆 | 億     | 万       | 一 |
|---|-------|---------|---|
|   |       | 10000   |   |
|   |       | 100000  |   |
|   |       | 1000000 |   |
|   | 10000 |         |   |

⑥ 一億は一万の(10000)倍です。10倍すると、右に0が1つ増えるわけではありません。

1万×1万=1億です。(1万)

| 兆     | 億       | 万 | 一 |
|-------|---------|---|---|
|       | 10000   |   |   |
|       | 100000  |   |   |
|       | 1000000 |   |   |
| 10000 |         |   |   |

⑫ 一兆は一億の(10000)倍です。1万倍ごとに、万、億、兆、一と新しい単位になります。(4桁ごと) (万進法)

2 次の数を位取りの表にかき入れて、よみましょう。(3点×5)

- ① 日本の人口: 125510000人 → いちごくにせんごひゃくごじゅういっぴん
- ② インドの人口: 1415653821
- ③ 中国の人口: 1412600000
- ④ 太陽と地球との距離: 149597870000m
- ⑤ 1光年: 9460730472580000m



大きな数は、右から4けたごとに区切ると読みやすいよ。

| 兆            | 億          | 万    | 一 |
|--------------|------------|------|---|
|              | 12551      | 0000 |   |
|              | 1415653821 |      |   |
|              | 14126      | 0000 |   |
|              | 14959787   | 0000 |   |
| 946073047258 |            |      |   |

③ 一億～千兆の位の数の位組みを理解し、よみ方、書き方がわかる。

3 次の数をよんで、(例)にならって漢字でかきましよう。(5点×5)

- (例) 日本の人口: 125510378人  
 [ 一億二千五百五十一万三千七百七十八人 ]
- ① イギリスの人口: 67530200人  
 [ 六千七百五十三万二千二百人 ]
- ② アメリカの人口: 332186407人  
 [ 三億三千二百十八万六千四百七十七人 ]
- ③ 世界の人口: 8004566000人  
 [ 八十億四百五十六万六千人 ]
- ④ 太陽と地球との距離: 149597870000m  
 [ 千四百九十五億九千七百八十七万メートル ]
- ⑤ 1光年: 9460730472580000m  
 [ 九千四百六十兆七千三百四億七千二百五十八万メートル ]

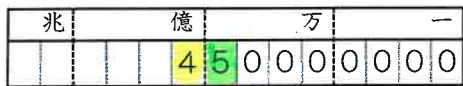
4 次の数をよんで、(例)にならって数字でかきましよう。(5点×5)

- (例) 五十六億五千六百三十五万  
 [ 5656350000 ]
- ① 二億八千万  
 [ 28000000 ]
- ② 六十七億三千五百八十九万  
 [ 6735890000 ]
- ③ 四兆七千六百億  
 [ 4760000000000 ]
- ④ 六百三億四十二万  
 [ 60300420000 ]
- ⑤ 二兆八千億五千万  
 [ 280000500000 ]

◎ 大きな数の加法的・相対的な見方と数系列を理解する。

|    |    |         |          |     |   |
|----|----|---------|----------|-----|---|
| 16 | 基本 | 一億をこえる数 | 大きな数のしくみ | 学習日 | / |
|----|----|---------|----------|-----|---|

1 4億5000万について、□にあてはまることばや数をかきましょう。(4点×3)

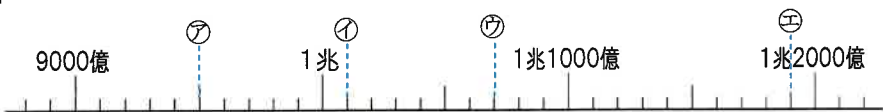


左の位取りの表を見て考えよう。



- 1億を4に、1000万を5に、合わせた数です。
- 1000万を45に集めた数です。←1000万の位を基準にすると、45に分になります。  
1000万の位
- 4は「一億」の位の数字で、5は「千万」の位の数字です。

2 下の㊶・㊷・㊸・㊹にあたる数は いくつですか。(4点×4)



- ㊶ [ 9500 億 ]      ㊷ [ 1 兆 100 億 ]
- ㊸ [ 1 兆 700 億 ]      ㊹ [ 1 兆 1900 億 ]

10目もりが1000億だから、1目もりは100億になります。

3 数字を14こならべて14けたの数をつくり、読みを漢字でかきましょう。(10点)

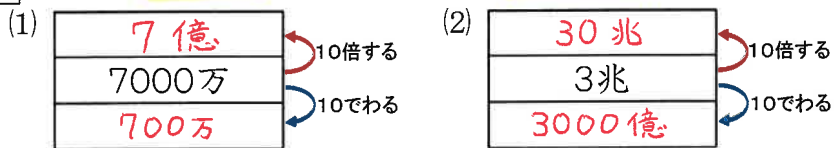


読み [ 三十兆七千二百五億四百九万六千八百八十二 ]

どんな大きな数でも、0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10この数字でかき表すことができます。

(十進位取り記数法) ← この名前が覚えなくてもいいですよ。

4 次の数を10倍した数はいくつですか。また、10でわった数はいくつですか。(3点×4)



どんな数でも、各位の数字は、10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がります。

5 □にあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

- 1億を60こ集めた数は **60 億** です。
  - 1億を73こ集めた数は **73 億** です。
  - 1000億を30こ集めた数は **3 兆** です。
  - 1000億を25こ集めた数は **2 兆 5000 億** です。
- ② 30000億 → 30000 億      ④ 25000億 → 25000 億

答えは、数字と漢字を使って表そう。



6 次の数を数字でかきましょう。位取りの長がなくても、数字でかけるように。(3点×4)

- 1億を3こ、100万を4こ合わせた数 [ 3 0400 0000 ]
- 10億を5こ、10万を9こ合わせた数 [ 50 0090 0000 ]
- 1兆を2こ、1億を7こ合わせた数 [ 2 0007 0000 0000 ]
- 1億を6こ、1万を48こ合わせた数 [ 6 0048 0000 ]

7 次の数を10倍した数を㊶に、10でわった数を㊷にかきましょう。(3点×6)

- 4000万      ㊶ [ 4 億 ]      ㊷ [ 400 万 ]
- 5000億      ㊶ [ 5 兆 ]      ㊷ [ 500 億 ]
- 9兆      ㊶ [ 90 兆 ]      ㊷ [ 9000 億 ]

10目もりが1兆だから、1目もりは1000億になります。

8 下の㊶・㊷・㊸・㊹にあたる数はいくつですか。(2点×4)



- ㊶ [ 1 兆 7000 億 ]      ㊷ [ 2 兆 2000 億 ]
- ㊸ [ 3 兆 4000 億 ]      ㊹ [ 4 兆 ]

◎ X(2位数)の筆算の仕方をもとにして、(3位数)X(3位数)の筆算ができる。

|    |    |         |          |     |   |
|----|----|---------|----------|-----|---|
| 17 | 基本 | 一億をこえる数 | 大きな数のかけ算 | 学習日 | ✓ |
|----|----|---------|----------|-----|---|

1 つぎのかけ算を筆算でしましょう。(8点×2)

- ①  $365 \times 245$                       ②  $437 \times 604$

$$\begin{array}{r} 365 \\ \times 245 \\ \hline 1825 \dots\dots 365 \times 5 \\ 14600 \dots\dots 365 \times 40 \\ 73000 \dots\dots 365 \times 200 \\ \hline 89425 \end{array} \leftarrow \text{答え}$$

$$\begin{array}{r} 437 \\ \times 604 \\ \hline 1748 \dots\dots 437 \times 4 \\ 0000 \dots\dots 437 \times 0 \\ 262200 \dots\dots 437 \times 600 \\ \hline 263948 \end{array} \leftarrow \text{答え}$$

この列の0000を省いてもできます。

0や00の所は、慣れてくると省いて計算しましょう。

かけ算の答えを積といいます。

この部分も、慣れてくると省きましょう。

2  $43 \times 38 = 1634$  を使って、次の答えを求めましょう。(8点×2)

- ①  $4300 \times 3800$                       ②  $43\text{万} \times 38\text{万}$

$$\begin{array}{l} 43 \times 38 = 1634 \\ \downarrow 100\text{倍} \\ 4300 \times 38 = 163400 \\ \downarrow 100\text{倍} \\ 4300 \times 3800 = 16340000 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} 43 \times 38 = 1634 \\ \downarrow 1\text{万倍} \\ 43\text{万} \times 38 = 1634\text{万} \\ \downarrow 1\text{万倍} \\ 43\text{万} \times 38\text{万} = 1634\text{億} \end{array}$$

- ①  $4300 \times 3800 = 1634$  万                      ②  $43\text{万} \times 38\text{万} = 1634$  億

100×100=1万です。



1万×1万=1億です。

大切覚えておきましょう。

3 次の計算を、筆算でくふうしてしましょう。(9点×2)

- ①  $4600 \times 380$                       ②  $5700 \times 2400$

$$\begin{array}{r} 4600 \\ \times 380 \\ \hline 3680 \\ 13800 \\ \hline 1748000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5700 \\ \times 2400 \\ \hline 22800 \\ 114000 \\ \hline 13680000 \end{array}$$

4 つぎのを計算をしましょう。(十の位をかけた時の0,百の位をかけた時の00は、省いています。)(3点×8)

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} \begin{array}{r} 236 \\ \times 312 \\ \hline 472 \\ 2360 \\ 7080 \\ \hline 73632 \end{array} \quad \textcircled{2} \begin{array}{r} 462 \\ \times 527 \\ \hline 3234 \\ 9240 \\ 23100 \\ \hline 243474 \end{array} \quad \textcircled{3} \begin{array}{r} 726 \\ \times 493 \\ \hline 2178 \\ 65340 \\ 290400 \\ \hline 357918 \end{array} \quad \textcircled{4} \begin{array}{r} 87 \\ \times 296 \\ \hline 522 \\ 7830 \\ 17400 \\ \hline 25752 \end{array}$$

(十の位の数「0」をかけた時の2段目の0000は省いています。)

$$\begin{array}{l} \textcircled{5} \begin{array}{r} 417 \\ \times 305 \\ \hline 2085 \\ 12510 \\ \hline 127185 \end{array} \quad \textcircled{6} \begin{array}{r} 624 \\ \times 408 \\ \hline 4992 \\ 24960 \\ \hline 254592 \end{array} \quad \textcircled{7} \begin{array}{r} 569 \\ \times 703 \\ \hline 1707 \\ 39830 \\ \hline 400007 \end{array} \quad \textcircled{8} \begin{array}{r} 708 \\ \times 609 \\ \hline 6372 \\ 42480 \\ \hline 431172 \end{array}$$

5  $37 \times 26 = 962$  を使って、次の答えを求めましょう。(2点×8)

- ①  $3700 \times 2600 = 9620000$                       ②  $37\text{万} \times 26 = 962\text{万}$   
 ③  $37000 \times 26000 = 962000000$                       ④  $37\text{万} \times 26\text{万} = 962\text{億}$   
 ⑤  $37\text{億} \times 26 = 962\text{億}$                       ⑥  $37\text{億} \times 26\text{万} = 962\text{兆}$   
 ⑦  $370 \times 26\text{億} = 9620\text{億}$                       ⑧  $370\text{万} \times 260\text{万} = 9\text{兆}6200\text{億}$

⑥万をかけると、単位の位も1つ大きくなりますね。

(96200億 → 9兆6200億と考えましょう。)

6 遠足の費用を 1人475円ずつあつめます。127人分では何円になりますか。(10点)

(式)  $475 \times 127 = 60325$  (円)

$$\begin{array}{r} 475 \\ \times 127 \\ \hline 3325 \\ 9500 \\ 47500 \\ \hline 60325 \end{array}$$

答え( 60325 円 )

1 次の数をよんで、漢字でかきましょう。(3点×4)

- ① 4365700000                      ② 50800075000  
 [ 四十三億 六千五百七十万 ]    [ 五百八億 七万五千 ]
- ③ 2054000250000                  ④ 9001680700600  
 [ 二兆 五百四十億 二十五万 ]    [ 九兆 十六億 八千七十万 六百 ]

2 次の数をよんで、数字でかきましょう。(3点×4)

- ① 二億五千万                      ② 六百十億二千八百万  
 [ 2 5000 0000 ]                      [ 610 2800 0000 ]
- ③ 四兆七千四百億                  ④ 二十七兆八千二百五十億  
 [ 4 7400 0000 0000 ]                  [ 27 8215 0000 0000 ]

3  にあてはまる数を数字でかきましょう。(3点×4)

- ① 1億を9こ、1万を82こ合わせた数 [ 9 0082 0000 ]
- ② 1億を30こ、1万を450こ合わせた数 [ 30 0450 0000 ]
- ③ 1000万を58こ集めた数 [ 5 8000 0000 ]  
1000万の位です。
- ④ 6000億を10倍した数 [ 6 0000 0000 0000 ]  
60000億 → 6兆です。

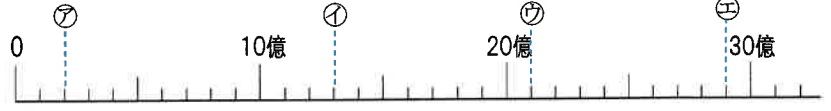
4  に不等号を入れて、数の大小を表しましょう。(3点×4)

- ① 1兆  9900億                      ② 25億  24兆
- ③ 3400億  340000000000                  ④ 4500億  4兆60万  
億

5 次の数を10倍した数を㉑に、10でわった数を㉒にかきましょう。(3点×4)

- (1) 2000万    ㉑ [ 2 億 ]    ㉒ [ 200万 ]
- (2) 4兆        ㉑ [ 40 兆 ]    ㉒ [ 4000億 ]

6 下の㉓・㉔・㉕・㉖にあたる数はいくつですか。(2点×4)



- ㉑ [ 2 億 ]                      ㉒ [ 13 億 ]
- ㉓ [ 21 億 ]                      ㉔ [ 29 億 ]
- (1目もりは1億です。)

7 つぎのを計算をしましょう。(3点×4)

|                                                                                                    |                                                                                                    |                                                                                            |                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① $\begin{array}{r} 537 \\ \times 264 \\ \hline 2148 \\ 3222 \\ 1074 \\ \hline 141768 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 608 \\ \times 783 \\ \hline 1824 \\ 4864 \\ 4256 \\ \hline 476064 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 968 \\ \times 509 \\ \hline 8712 \\ 4840 \\ \hline 492712 \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 8300 \\ \times 670 \\ \hline 581 \\ 498 \\ \hline 5561000 \end{array}$ |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|

8  $46 + 28 = 74$  を使って、次の答えを求めましょう。(3点×2)

- ① 46億 + 28億 = 74億                      ② 4億6000万 + 2億8000万 = 7億4000万

9  $29 \times 34 = 986$  を使って、次の答えを求めましょう。(2点×4)

- ①  $2900 \times 3400 =$  9860000                      ②  $29万 \times 34万 =$  986億
- ③  $29 \times 34億 =$  986億                      ④  $29億 \times 34万 =$  986兆

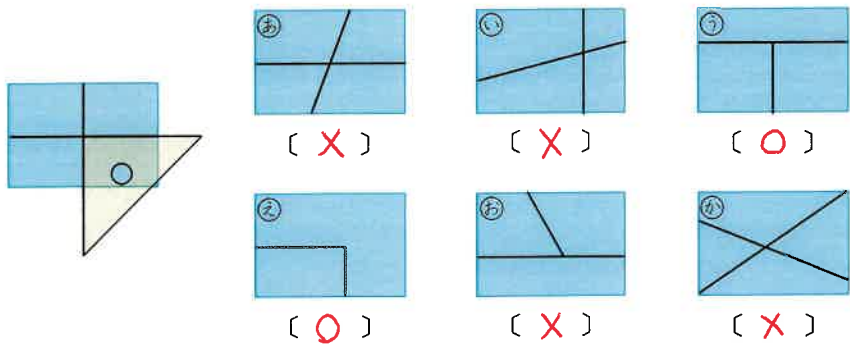
10 0から9までの数字をそれぞれ1回ずつ使って、10けたの数をつくります。  
 いちばん大きい数と2番目に大きい数を答えましょう。(3点×2)

- ① [ 98 7654 3210 ]                      ② [ 98 7654 3201 ]

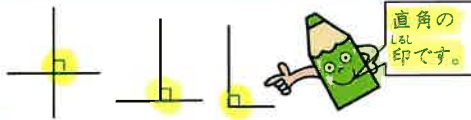
② 2直線の交わり方を調べ、垂直の意味を理解する。

|    |    |           |         |     |   |
|----|----|-----------|---------|-----|---|
| 19 | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 垂直と平行-1 | 学習日 | / |
|----|----|-----------|---------|-----|---|

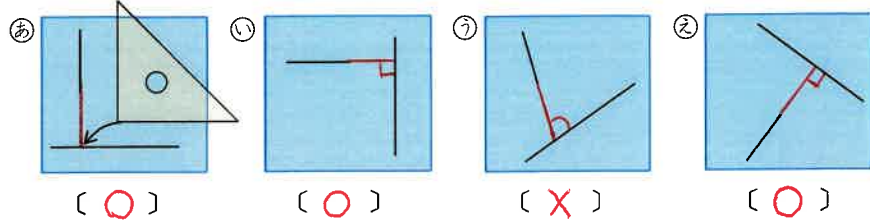
1 下の㉑～㉓までの図で、2つの直線が交わってできる角が直角のものには○、直角でないものには×をつけましょう。(三角定規を使って調べましょう。) (4点×6)



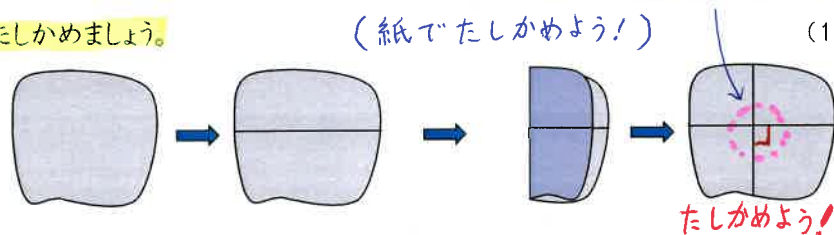
2つの直線が交わってできる角が直角のとき、この2つの直線は垂直であるといえます。



2 下の㉑～㉔までの図で、2つの直線が垂直であるものには○、垂直でないものには×をつけましょう。(直線をのびて調べましょう。) (4点×4)

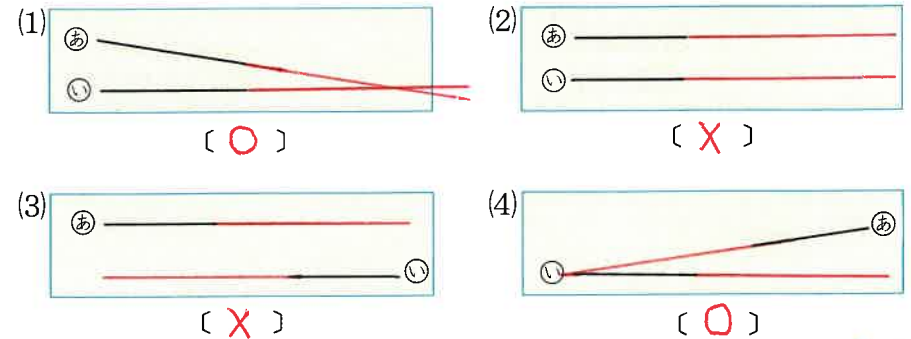


3 下の図のように紙を折って、垂直な直線をつくり、垂直に交わっていることをたしかめましょう。(紙でたしかめよう!) (10点)



③ 2直線の交わり方を調べ、平行の意味を理解する。

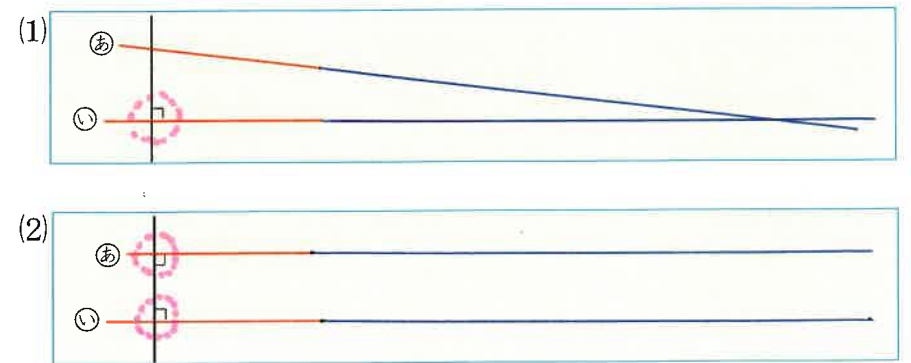
4 下の図で、直線㉑と直線㉒はのびすと交わりますか。交わるのものには○、交わらないものには×をつけましょう。(5点×4)



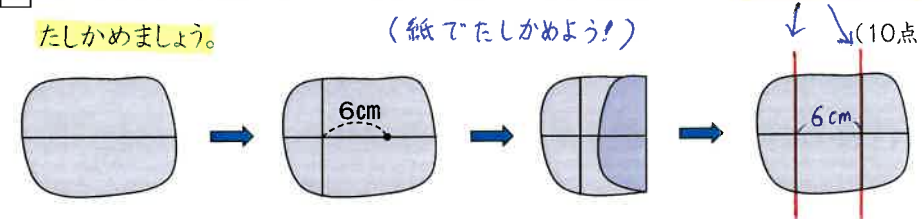
どこまでののびしても交わらない2つの直線は平行であるといえます。また、1つの直線に垂直な2つの直線は、必ず平行になります。



5 直線㉑と直線㉒をのびして、1つの直線に垂直な2つの直線が平行になることをたしかめましょう。(10点×2)



6 下の図のように紙を折って、はばが6cmの平行な直線をつくり、平行であることをたしかめましょう。(紙でたしかめよう!) (10点)



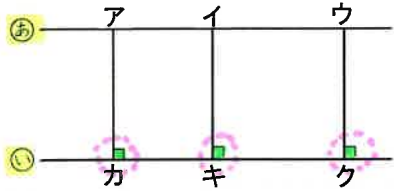
◎ 平行な2直線の幅を調べ、平行についての理解を深める。

◎ 三角定規や方眼を使って、垂直や平行になっている直線を調べる。

|    |    |           |         |     |   |
|----|----|-----------|---------|-----|---|
| 20 | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 垂直と平行-2 | 学習日 | / |
|----|----|-----------|---------|-----|---|

1 下の図の直線④と直線①は平行です。直線アカ、直線イキ、直線ウクは、それぞれ直線①に垂直です。( )にあてはまることばを、下の□から選んで書きましょう。(4点×4)

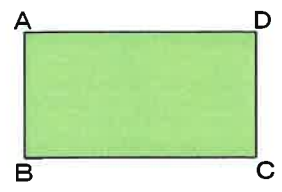
- (1) 直線アカ、直線イキ、直線ウクは、直線④にも(垂直に)なっています。
- (2) 直線アカ、直線イキ、直線ウクの長さは(同じに)なっています。
- (3) 平行な2つの直線の(はば)は、上の直線アカの長さで表します。これは、どこをはかっても(同じ)です。



平行 ・ 垂直に ・ はば ・ 同じ ・ 同じに

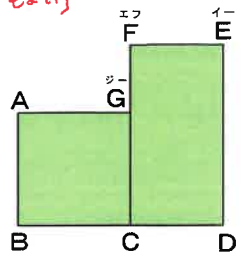
2 下の長方形で、垂直や平行になっている辺の組を見つけましょう。(3点×6)

- (1) 垂直になっている辺の組 [辺ADが辺DAのようになっているも可]
  - ( 辺ABと辺AD ), ( 辺ABと辺BC )
  - ( 辺DCと辺AD ), ( 辺DCと辺BC )
- (2) 平行になっている辺の組
  - ( 辺ABと辺DC ), ( 辺ADと辺BC )



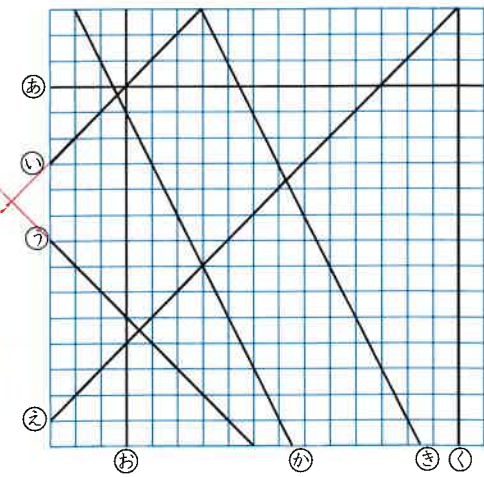
3 下の図は、正方形と長方形を合わせた図です。(3点×6)

- (1) 直線FCに垂直な直線はどれですか。 [BDは、BC、CDでもよい]
  - ( 直線FE ), ( 直線AG ), ( 直線BD )
- (2) 直線FEに平行な直線はどれですか。 [BC、CDでもよい]
  - ( 直線AG ), ( 直線BD )
- (3) 点Eを通過して、直線ABに平行な直線はどれですか。
  - ( 直線ED )

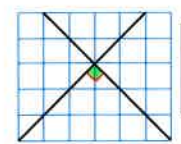
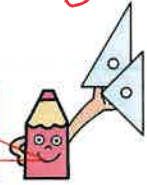


4 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(4点×7)

- (1) 垂直な直線はどれですか。
  - ( ④ と ⑥ ) ( ④ と ① )
  - ( ① と ③ ) ( ② と ③ )
- (2) 平行な直線はどれですか。
  - ( ① と ② ) ( ⑤ と ① )
  - ( ④ と ③ )



三角定規を使って、たしかめてみましょう。



こんなときも垂直になります。

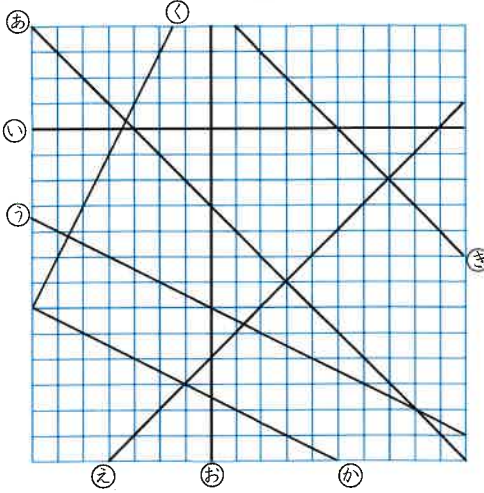


こんなときも平行になります。

\* 「記号で答えなさい」と書いてないので、⑥や③と答えると×になります。

5 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(5点×4)

- (1) 直線①に垂直な直線はどれですか。
  - このように [ 直線⑥ ]
  - 答えよう。
- (2) 直線④に平行な直線はどれですか。
  - [ 直線③ ]
- (3) 直線②に垂直な直線はどれですか。
  - すべて書きましょう。
  - [ 直線④, 直線③ ]
- (4) 直線①に垂直な直線はどれですか。
  - すべて書きましょう。
  - [ 直線⑦, 直線⑧ ]

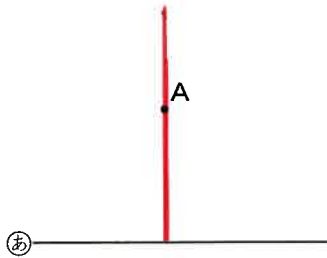
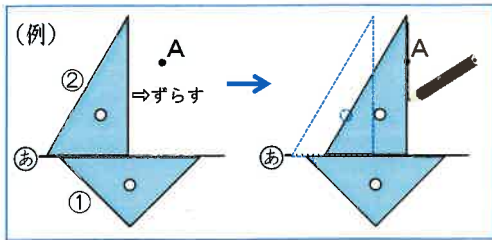


◎ 1組の三角定規を使って、垂直・平行な直線をかく。

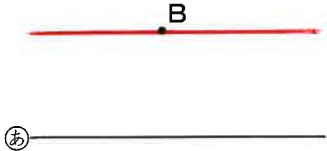
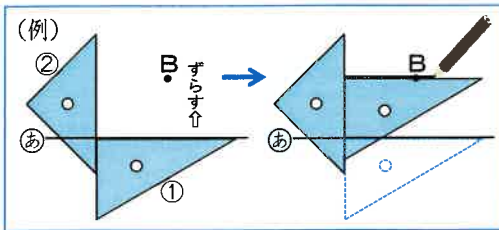
|           |    |           |              |     |   |
|-----------|----|-----------|--------------|-----|---|
| <b>21</b> | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 垂直や平行な直線のかき方 | 学習日 | / |
|-----------|----|-----------|--------------|-----|---|

1 1組の三角定規じょうぎを使って、(例)にならって、次の直線をかきましょう。(10点×2)

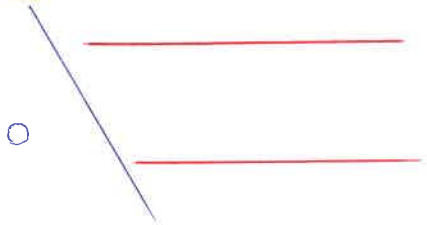
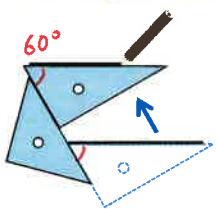
(1) 点Aを通して、直線④に垂直な直線



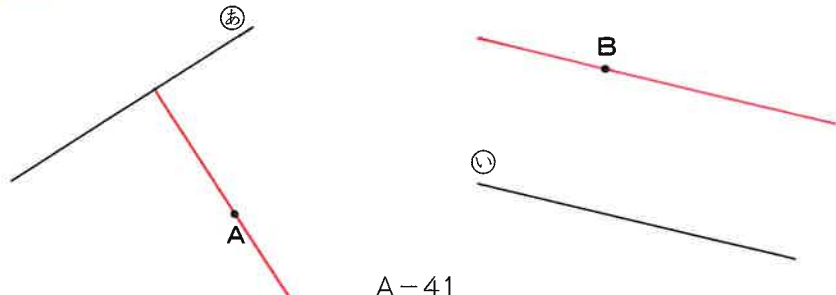
(2) 点Bを通して、直線④に平行な直線



2 三角定規じょうぎの60°の角を使って、平行な直線をかきましょう。(10点)

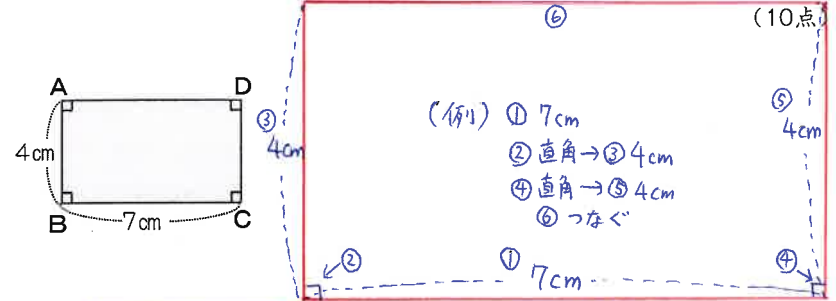


3 下の図で、点Aを通して直線④に垂直な直線と、点Bを通して直線①に平行な直線をかきましょう。(10点×2)

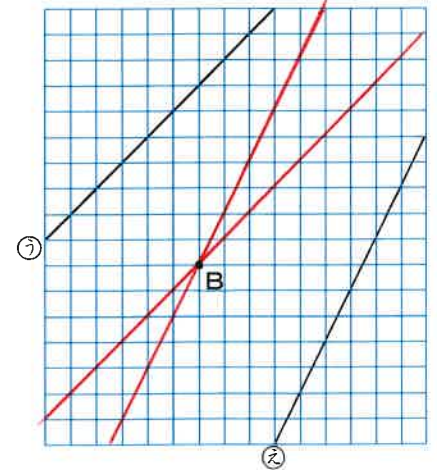
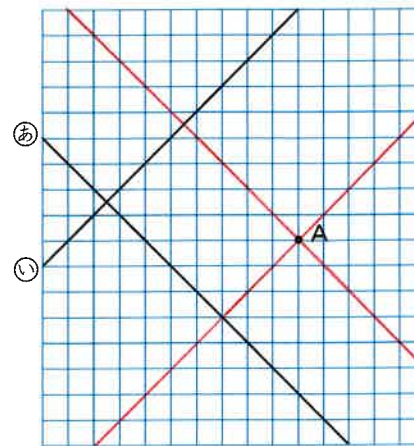


◎ 方眼紙上で2本の直線の垂直や平行な関係を見つけたり、かいたりする。

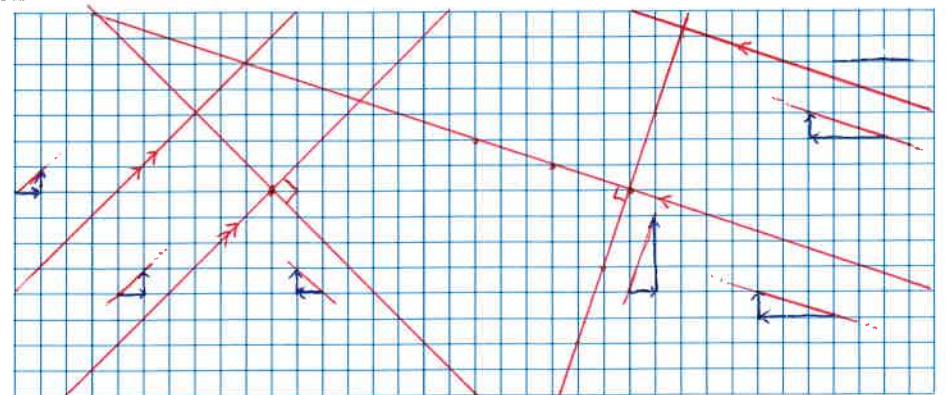
4 垂直や平行な直線のかき方を使って、たて4cm、横7cmの長方形をかきましょう。



5 下の図で、点Aを通して直線④や直線①に垂直な直線、点Bを通して直線⑦や直線②に平行な直線をかきましょう。(8点×4)



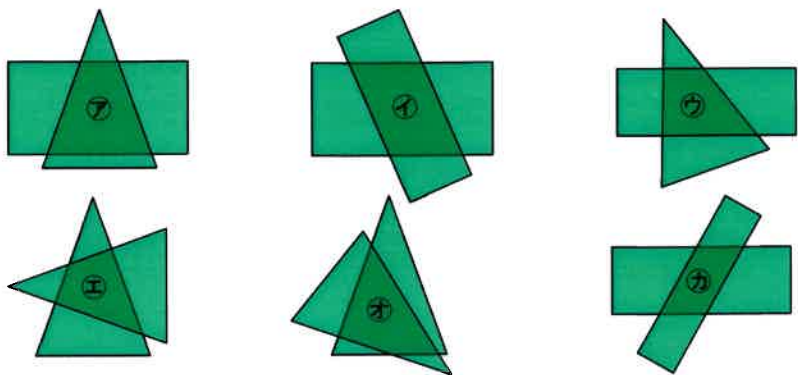
6 下の図を使って、垂直や平行な直線をいろいろかきましょう。(例) (8点)



② 台形と平行四辺形の定義と、その性質について理解する。

|    |    |           |       |     |   |
|----|----|-----------|-------|-----|---|
| 22 | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 四角形-1 | 学習日 | / |
|----|----|-----------|-------|-----|---|

1 三角形や長方形を重ねてできる四角形を、辺の平行に目をつけてなかまに分けましょう。(8点×3)



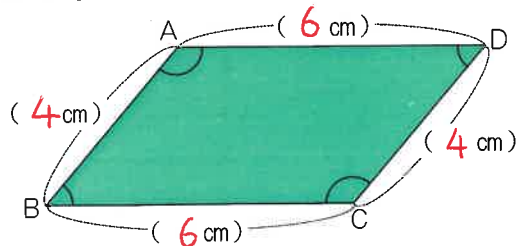
- (1) 1組の辺が平行な四角形 ..... [ ㉗, ㉘ ]
- (2) 2組の辺が平行な四角形 ..... [ ㉙, ㉚ ]
- (3) 平行な辺の組がない四角形 ..... [ ㉛, ㉜ ]

向かい合った1組の辺が平行な四角形を **台形** といいます。

向かい合った2組の辺がどちらも平行になっている四角形を **平行四辺形** といいます。

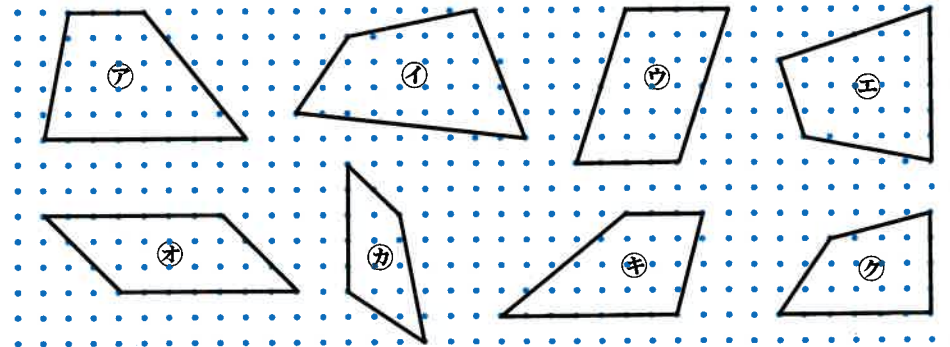
**台形**                      **平行四辺形**

2 下の平行四辺形の、向かい合った辺の長さ、向かい合った角の大きさを調べましょう。(2点×8)



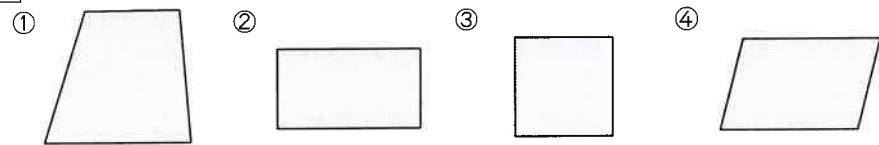
- 角A ( 130° )
- 角B ( 50° )
- 角C ( 130° )
- 角D ( 50° )

3 次の中から、台形と平行四辺形を見つけて( )に記号を書きましょう。(4点×4)



台形 ( ㉗, ㉘ )                      平行四辺形 ( ㉙, ㉚ )

4 次の四角形の名前を書きましょう。(4点×4)



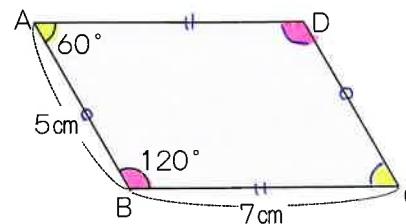
[ 台形 ] [ 長方形 ] [ 正方形 ] [ 平行四辺形 ]

5 ( )にあてはまることばを□からえらんで書きましょう。(4点×4)

- (1) 向かい合った( 1組の辺 )が( 平行 )な四角形を台形といいます。
- (2) 向かい合った( 2組の辺 )がどちらも( 平行 )になっている四角形を平行四辺形といいます。

平行 ・ 平行 ・ 1組の辺 ・ 2組の辺

6 下の平行四辺形で、辺AD、辺CDの長さは何cmですか。また、角C、角Dの大きさは何度ですか。(図は小さくしてあります)(3点×4)

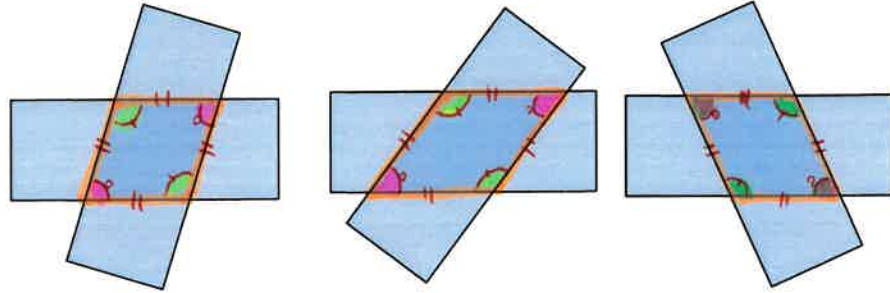


- 辺AD ( 7 cm )
- 辺CD ( 5 cm )
- 角C ( 60° )
- 角D ( 120° )

◎ ひし形の定義と、その性質について理解する。

|           |    |           |       |     |   |
|-----------|----|-----------|-------|-----|---|
| <b>23</b> | 基本 | 垂直・平行と四角形 | 四角形-2 | 学習日 | / |
|-----------|----|-----------|-------|-----|---|

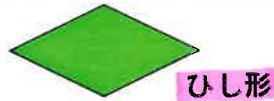
1 形も大きさも同じ長方形の紙を2まい重ねると、どんな四角形ができるか調べて ( ) にあてはまることばを [ ] からえらんで書きましょう。 (8点×4)  
(コンパスや分度器を使って調べましょう。)



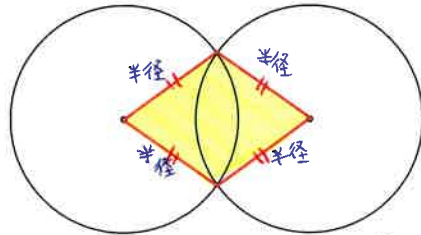
- できた四角形の4つの辺の長さは、みんな( **等しく** )になっています。
- 向かいあった角の大きさは、( **等しく** )になっています。
- 向かいあった辺は( **平行** )です。
- 辺の長さがみんな等しい四角形を( **ひし形** )といいます。

平行 ・ 等しく ・ 等しく ・ 平行四角形 ・ ひし形

辺の長さがみんな等しい四角形を **ひし形** といいます。



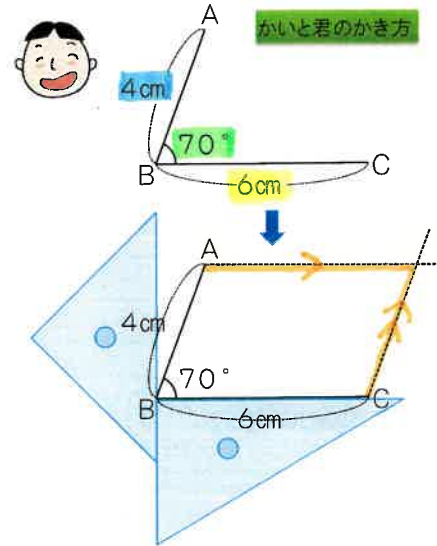
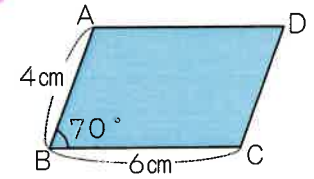
2 半径が等しい円を2つかき、交わった点と中心を直線でつなぐと、ひし形ができます。そのわけを説明しましょう。 (18点)



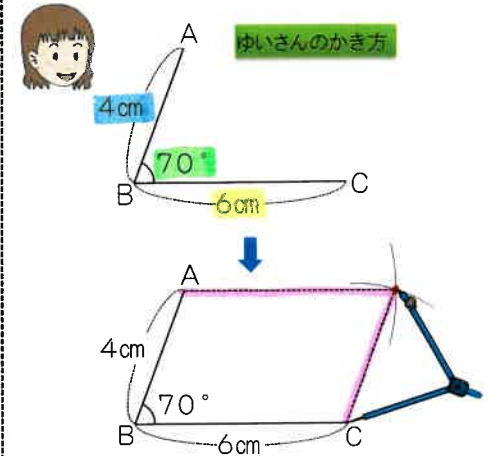
辺の長さが みんな等しくなる からです。  
(円の半径に)

◎ 平行四角形の定義や性質をもとに、作図する。

3 右のような平行四角形のかき方をかいと君とゆいさんが説明しています。図を見て ( ) にあてはまる数やことばを書きましょう。 (15点×2)

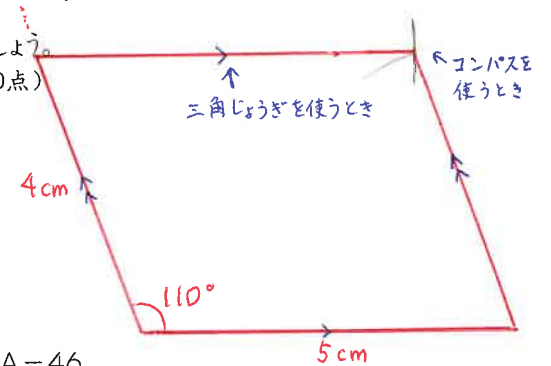
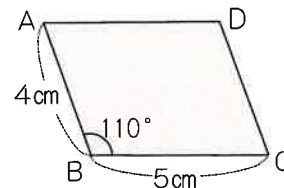


まず6cmの辺をかいてから、間の角が( **70°** )になるように( **4cm** )の辺をかきます。次に向かい合った辺が( **平行** )だから、三角じょうぎを使って向かいあった辺を( **平行** )にかきます。



まず6cmの辺をかいてから、間の角が( **70°** )になるように( **4cm** )の辺をかきます。次に向かい合った辺の長さが( **等しい** )から、コンパスで向かい合った辺を( **等しく** )かきます。

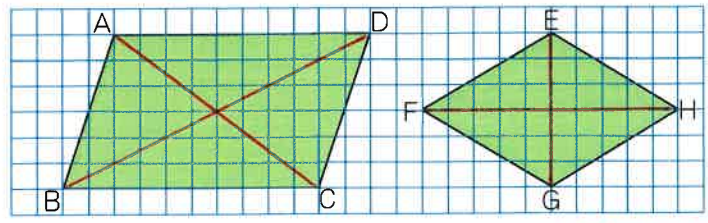
4 下のような平行四角形をかきましょう。 (20点)



◎ 対角線について知り、平行四辺形やひし形の対角線の交わり方を調べる。

|           |           |                  |                |                          |
|-----------|-----------|------------------|----------------|--------------------------|
| <b>24</b> | <b>基本</b> | <b>垂直・平行と四角形</b> | <b>対角線と四角形</b> | 学習日 <input type="text"/> |
|-----------|-----------|------------------|----------------|--------------------------|

1 下の平行四辺形、ひし形の向かいあった頂点を直線で結び、結んだ図を見て ( ) にあてはまることばを  からえらんで書きましょう。 (5点×3)



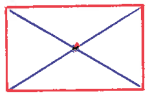
四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を対角線といいます。



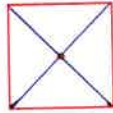
- 1 四角形の向かい合った頂点を結んだ直線を( **対角線** )といいます。
  - 2 平行四辺形の2つの対角線は、それぞれの( **まん中の点** )で交わります。
  - 3 ひし形の2つの対角線は( **垂直** )で、それぞれのまん中の点で交わります。
- まん中の点 ・ 垂直 ・ 対角線

2 長方形や正方形の対角線について考えます。( ) にあてはまることばを  からえらんで書きましょう。(同じことばを2度使ってもよい) (5点×5)

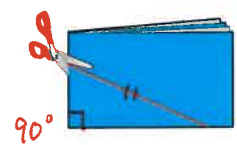
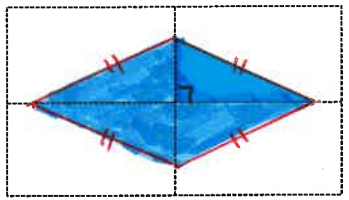
- 1 長方形の対角線の長さは( **等しく** ), それぞれの( **まん中の点** )で交わります。
- 2 正方形の対角線の長さは( **等しく** ), それぞれの( **まん中の点** )で交わります。また、正方形の対角線は( **垂直** )に交わります。



まん中の点 ・ 等しく ・ 垂直



3 紙を下図のように折り、—のところで切り取って広げると、どんな形ができますか。広げたときの形を図にかいて答えましょう。 (10点)



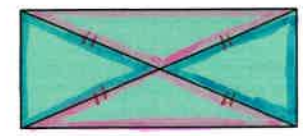
答え( **ひし形** )

◎ 四角形を対角線で切ったときにできる三角形について考える。

4 長方形の紙を2つの対角線で4つに切ります。あとの問題に答えましょう。

(1) ㊦ どんな三角形ができますか。 (5点×2)

[ **二等辺三角形** ]

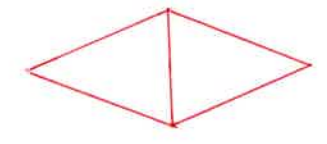
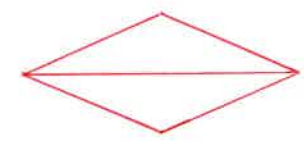


㊧ ㊦の三角形になるわけをかきましょう。

[ **2つの辺の長さが等しくなっているから。(長方形の対角線の長さは等しく、それぞれのまん中の点で交わるから。)** ]

(2) 切り取った三角形を2まいずつならべて、ひし形を2つつくります。どのようにならべればよいでしょうか。かんたんに、ならべた時の図をかきましょう。 (10点)

[ 図 ]

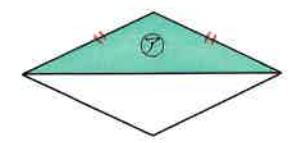


5 ひし形を対角線で切ったときにできる三角形について調べます。

(1) ㊦ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましょう。 (5点×2)

[ **二等辺三角形** ]

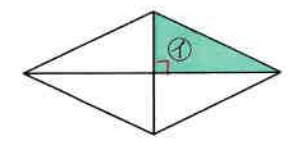
[ **2つの辺の長さが等しくなっているから。** ]



(2) ㊧ はどんな三角形ですか。また、その三角形になるわけをかきましょう。 (5点×2)

[ **直角三角形** ]

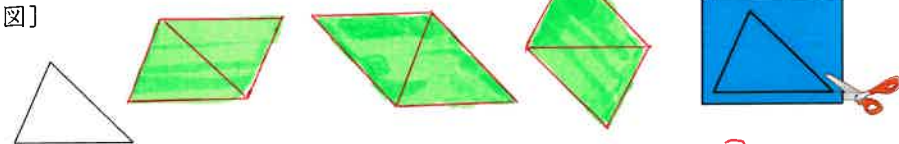
[ **直角がある三角形だから。(ひし形の対角線は垂直に交わるから。)** ]



6 右下のようにして切り取った形も大きさも同じ2まいの三角形を組みあわせて、

平行四辺形をつくります。何種類の平行四辺形ができますか。ならべた時の図をかいて、答えましょう。(図はだいたいよい) (10点)

[ 図 ]



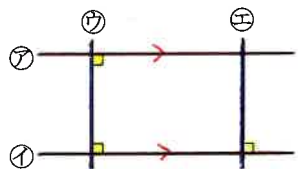
[ **3種類** ]

◎ 学習内容の理解を確認する。

|           |    |           |     |     |   |
|-----------|----|-----------|-----|-----|---|
| <b>25</b> | 基本 | 垂直・平行と四角形 | まとめ | 学習日 | / |
|-----------|----|-----------|-----|-----|---|

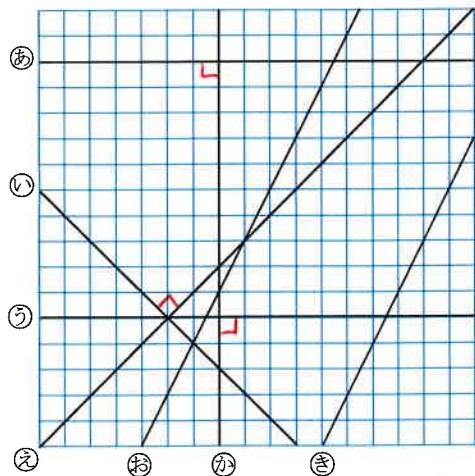
1 ( )にあてはまることばを書きましょう。(5点×3)

- (1) 直線㉞と直線㉟は( **平行** )です。  
 (2) 直線㉞と直線㉠は( **垂直** )です。  
 (3) 直線㉞と直線㉡は( **垂直** )です。

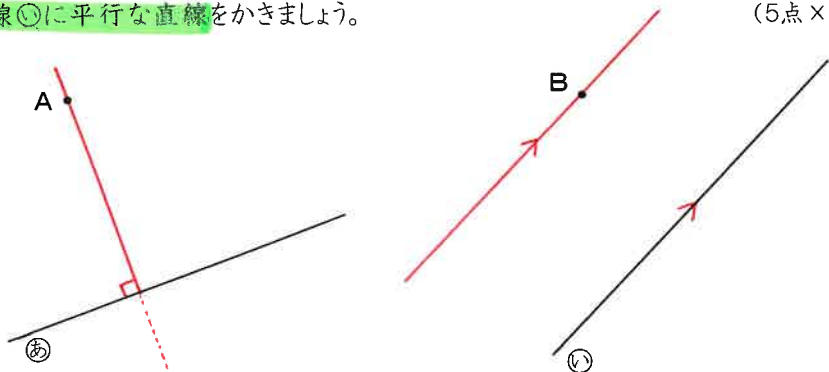


2 下の図で、垂直や平行になっている直線を調べます。(5点×5)

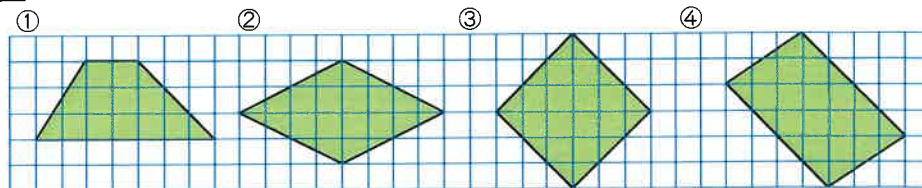
- (1) 垂直な直線はどれですか。  
 ( **あ** と **か** )  
 ( **い** と **え** )  
 ( **う** と **か** )
- (2) 平行な直線はどれですか。  
 ( **あ** と **う** )  
 ( **お** と **き** )



3 1組の三角じょうぎを使って、点Aを通して直線㉞に垂直な直線と、点Bを通して直線㉟に平行な直線をかきましょう。(5点×2)



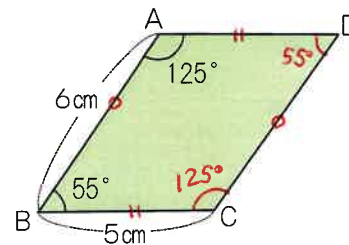
4 次の四角形の名前を書きましょう。(4点×4)



[ **台形** ] [ **ひし形** ] [ **正方形** ] [ **平行四辺形** ]

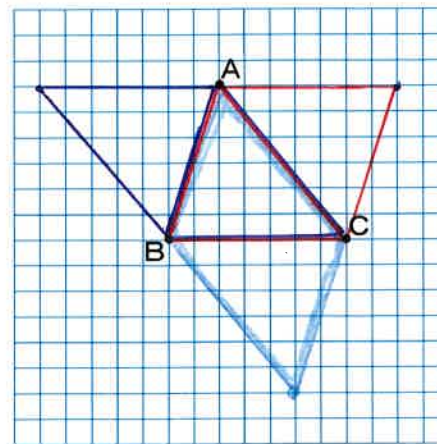
5 右下の平行四辺形について、次の問題に答えましょう。(3点×5)

- ① 辺ADの長さは何cmですか。( **5** cm)  
 ② 辺CDの長さは何cmですか。( **6** cm)  
 ③ 角Cの大きさは何度ですか。( **125**°)  
 ④ 角Dの大きさは何度ですか。( **55**°)  
 ⑤ 点Aと点Cを結んだ直線を何といいますか。( **対角線** )

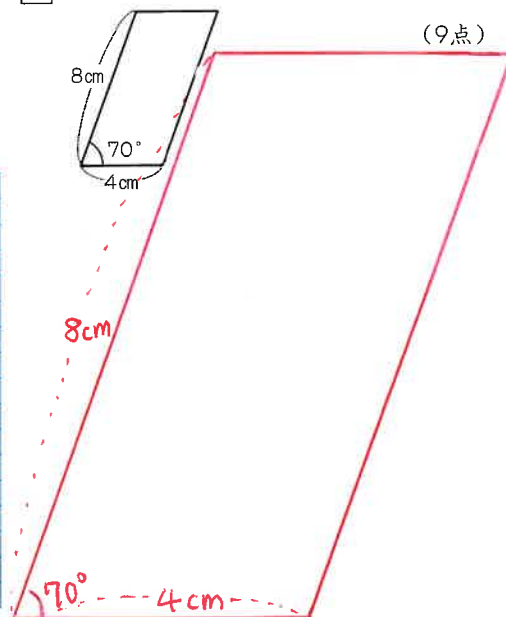


6 3つの点A, B, Cを頂点とする平行四辺形を書きます。何種類の平行四辺形がかけますか。(10点)

( **3** 種類 )

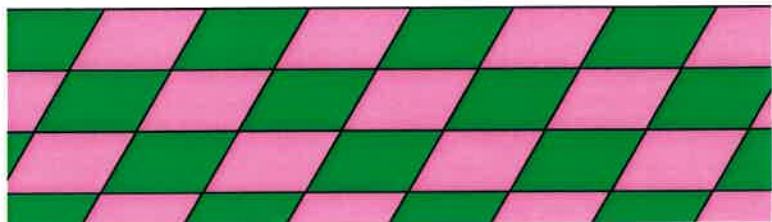


7 下のような平行四辺形をかきましょう。(9点)

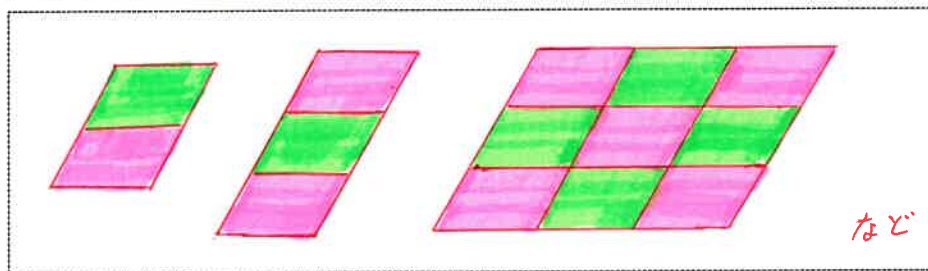


◎どんな四角形でも敷き詰められるか確かめよう。

1 形も大きさも同じ平行四辺形をならべて、すきまなくしきつめました。



(1) しきつめもようから、いろいろな平行四辺形を見つけましょう。(20点)



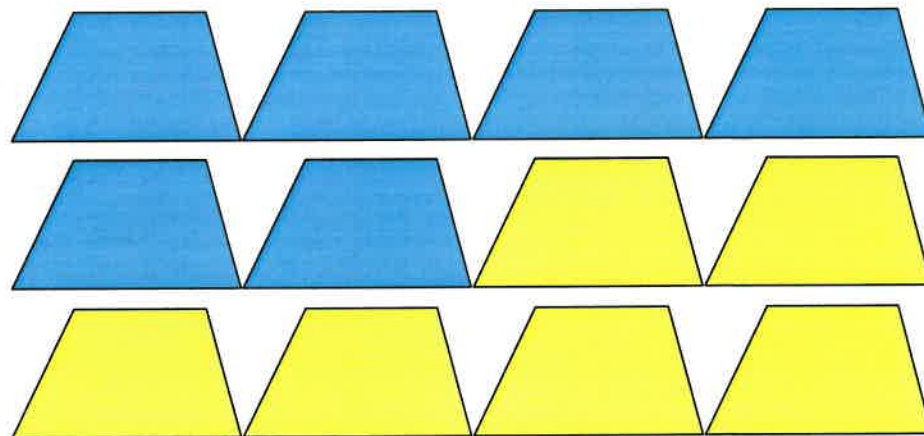
(2) 下の形が、平行四辺形といえるわけを説明しましょう。(10点×3)

⑦ 三角じょうぎを使って調べると、向かい合う辺がどちらも **平行** になっているので平行四辺形です。

⑧ 向かい合う辺の長さが **等しくなっている** ので平行四辺形です。

⑨ 向かい合う角の大きさが **等しくなっている** ので平行四辺形です。

2 台形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)



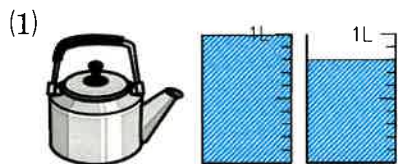
3 下のような四角形をしきつめることができるか、やってみましょう。(25点)



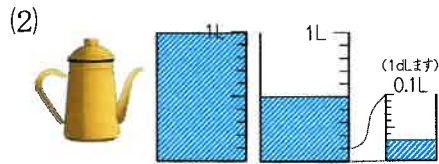
◎ 量の端数の表し方による小数の動機づけ (1/100の位)

|    |    |    |        |     |   |
|----|----|----|--------|-----|---|
| 27 | 基本 | 小数 | 小数の表し方 | 学習日 | / |
|----|----|----|--------|-----|---|

1 やかんとポットに入る水のかさを調べました。それぞれのかさを **1L** を単位にして表します。□にあてはまる数をかきましょう。(8点×2)



やかんの水のかさ  
 1L が1つ分で **1** L  
 0.1L が8つ分で **0.8** L  
 あわせて **1.8** L



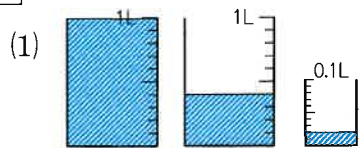
ポットの水のかさ  
 1L が1つ分で **1** L  
 0.1L が5つ分で **0.5** L  
 0.01L が3つ分で **0.03** L  
 あわせて **1.53** L

(一点五三リットル)

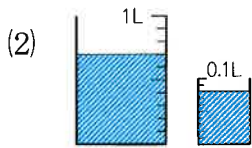
1Lの  $\frac{1}{10}$  は **0.1L** , 0.1Lの  $\frac{1}{10}$  は **0.01L** (れいれい<sup>いち</sup>リットル) です。  
 0.01Lは1Lの  $\frac{1}{100}$  です。

**1.53** は、「いっ<sup>いち</sup>点<sup>てん</sup>ご<sup>ご</sup>さん」と読みます。「いっ<sup>いち</sup>点<sup>てん</sup>ご<sup>ご</sup>じゅう<sup>じゅう</sup>さん」ではありません。  
 (「いち<sup>いち</sup>点<sup>てん</sup>ご<sup>ご</sup>さん」)

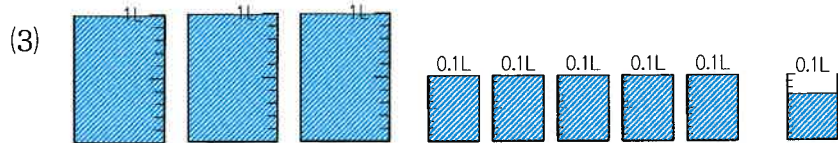
2 次の水のかさは、何Lですか。(8点×3)



[ **1.42** L ]



[ **0.78** L ]



[ **3.57** L ]

◎ 1/1000の位の小数の表し方

3 大鳴門橋は**1629m**あります。これを、**km**を単位にして表すことを考えます。

□にあてはまる数をかきましょう。(10点)

1 kmの  $\frac{1}{10}$  (100m)は **0.1km**  
 0.1 kmの  $\frac{1}{10}$  (10m)は **0.01km**  
 0.01 kmの  $\frac{1}{10}$  (1m)は **0.001km** です。  
 (れいれいれい<sup>いち</sup>キロメートル)



★1629mは

|          |       |                 |
|----------|-------|-----------------|
| 1 km     | が1つ分で | <b>1</b> km     |
| 0.1 km   | が6つ分で | <b>0.6</b> km   |
| 0.01 km  | が2つ分で | <b>0.02</b> km  |
| 0.001 km | が9つ分で | <b>0.009</b> km |
| あわせて     |       | <b>1.629</b> km |

(一点六二九)

大鳴門橋(兵庫県)



「いっ<sup>いち</sup>点<sup>てん</sup>ろ<sup>ろ</sup>っ<sup>ろ</sup>び<sup>び</sup>ゃ<sup>ゃ</sup>く<sup>く</sup>に<sup>に</sup>じゅう<sup>じゅう</sup>く」ではありません。

4 マラソンでは、42.195kmの道のりを走ります。**42.195km**を、**m**を単位として表すと何**m**になりますか。(10点)

1 km = 1000 m で、

1 m = 0.001 km です。

[ **42195** m ]



5 □にはあてはまる数をかきましょう。(5点×4)

① 3462m = **3.462** km

② 8606m = **8.606** km

③ 7.685km = **7685** m

④ 35.008km = **35008** m

6 □にはあてはまる数をかきましょう。(5点×4)

① 6373g = **6.373** kg

② 545g = **0.545** kg

③ 4.702kg = **4702** g

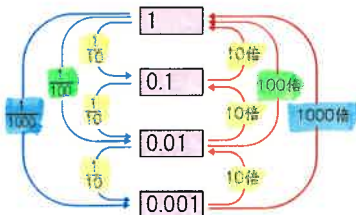
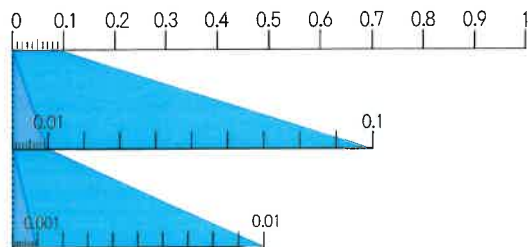
④ 18.299kg = **18299** g

① 1, 0.1, 0.01, 0.001 の相互の関係を調べ、十進数としての仕組みをとらえる。

② 小数の加法的・相対的な見方、位の間の関係を理解する。

**28** 基本 小数 小数のしくみ-1 学習日 /

**1** 1と0.1, 0.01, 0.001の関係を調べます。(5点×6)



- (1) 0.1, 0.01, 0.001は1の何分の1ですか。分数で答えましょう。
- ① 0.1 [  $\frac{1}{10}$  ]    ② 0.01 [  $\frac{1}{100}$  ]    ③ 0.001 [  $\frac{1}{1000}$  ]
- (2) 1は、0.1, 0.01, 0.001の何倍ですか。
- ① 0.1の[ 10 ]倍    ② 0.01の[ 100 ]倍    ③ 0.001の[ 1000 ]倍

**2** 42.195は、10, 1, 0.1, 0.01, 0.001をそれぞれ何こあわせた数ですか。  
□にあてはまる数をかきましよう。(10点)

★42.195は

- 10 を □ 4 こ  
1 を □ 2 こ  
0.1 を □ 1 こ  
0.01 を □ 9 こ  
0.001 を □ 5 こ

|        | 十の位 | 一の位 | $\frac{1}{10}$ の位 | $\frac{1}{100}$ の位 | $\frac{1}{1000}$ の位 |
|--------|-----|-----|-------------------|--------------------|---------------------|
| 42.195 | 4   | 2   | 1                 | 9                  | 5                   |

あわせた数です。

小数点から右の位は、順に  $\frac{1}{10}$  の位、 $\frac{1}{100}$  の位、 $\frac{1}{1000}$  の位、また、それぞれ  
小数第1位、小数第2位、小数第3位といいます。

**3** ( )にあてはまる数をかきましよう。(5点×3)

- (1) 10は、0.1の( 100 )倍です。  
(2) 10は、0.01の( 1000 )倍です。  
(3) 10は、0.001の( 10000 )倍です。

| 十の位 | 一の位 | $\frac{1}{10}$ の位 | $\frac{1}{100}$ の位 | $\frac{1}{1000}$ の位 |
|-----|-----|-------------------|--------------------|---------------------|
| 1   | 0   | 0                 | 0                  | 0                   |
|     | 0   | 1                 |                    |                     |
|     | 0   | 0                 | 1                  |                     |
|     | 0   | 0                 | 0                  | 1                   |

**4** 次の問題に答えましよう。(5点×3)

- (1) 1は、0.01の何倍ですか。 [ 100 倍 ]  
(2) 0.1を2こと 0.01を4こあわせた数はいくつですか。 [ 0.24 ]  
(3) 0.01を8こと 0.001を9こあわせた数はいくつですか。 [ 0.089 ]

**5** □にあてはまる数をかきましよう。(5点×6)

- (1) 1.475は、1を□ 1 こ、0.1を□ 4 こ、0.01を□ 7 こ、0.001を□ 5 こあわせた数です。  
(2) 5.308は、1を□ 5 こ、0.1を□ 3 こ、0.001を□ 8 こあわせた数です。  
(3) 6.274は、0.001を□ 6274 こ集めた数です。  
(4) 7.006は、0.001を□ 7006 こ集めた数です。  
(5) 0.001を203こ集めた数は□ 0.203 です。  
(6) 0.001を8207こ集めた数は□ 8.207 です。

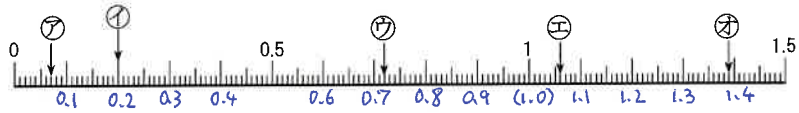
ややこしいと思ったら、位取りの表を見て考えましよう。



① 小数を、10倍したり10でわったりすることについて理解する。

|    |    |    |          |     |   |
|----|----|----|----------|-----|---|
| 29 | 基本 | 小数 | 小数のしくみ-2 | 学習日 | ／ |
|----|----|----|----------|-----|---|

1 次の㉑、㉒、㉓、㉔、㉕にあたる数は何ですか。(4点×5)



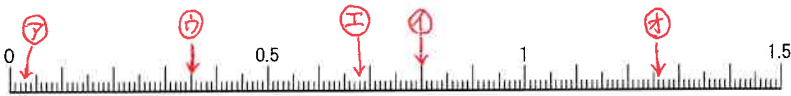
㉑〔 0.07 〕      ㉒〔 0.2 〕      ㉓〔 0.72 〕

㉔〔 1.06 〕      ㉕〔 1.39 〕

1目もりは、0.01です。

2 次の数を下の数直線に表しましょう。(4点×5)

㉑ 0.03      ㉒ 0.8      ㉓ 0.35      ㉔ 0.68      ㉕ 1.26



3 下の(れい)をもとにして、3.8、0.38をそれぞれ10倍しましょう。(5点×2)

(れい)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
|     |     | 3   | 8   |        |         |          |
|     | 3   | 8   | 0   |        |         |          |
| 3   | 8   | 0   | 0   |        |         |          |

10倍 (from 38 to 380)  
10倍 (from 380 to 3800)

小数も整数と同じように、各位の数字を、10倍すると位が1つ上がります。

(1)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
|     |     | 3   | 8   |        |         |          |
|     | 3   | 8   |     |        |         |          |
| 3   | 8   |     |     |        |         |          |

10倍 (from 38 to 380)

(2)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
|     |     | 0   | 3   | 8      |         |          |
|     | 3   | 8   |     |        |         |          |
| 3   | 8   |     |     |        |         |          |

10倍 (from 0.38 to 3.8)

4 下の(れい)をもとにして、6.4、0.64をそれぞれ10でわりましょう。(5点×2)

(れい)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
| 6   | 4   | 0   | 0   |        |         |          |
|     | 6   | 4   | 0   |        |         |          |
|     |     | 6   | 4   |        |         |          |

÷10 (from 6400 to 640)  
÷10 (from 640 to 64)

小数も整数と同じように、各位の数字を、10でわると位が1つ下がります。

(1)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
|     |     | 6   | 4   |        |         |          |
|     |     | 0   | 6   | 4      |         |          |
|     | 0   | 6   | 4   |        |         |          |

÷10 (from 64 to 6.4)

(2)

| 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 | 1/10の位 | 1/100の位 | 1/1000の位 |
|-----|-----|-----|-----|--------|---------|----------|
|     |     |     | 0   | 6      | 4       |          |
|     |     |     | 0   | 0      | 6       | 4        |
|     | 0   | 0   | 6   | 4      |         |          |

÷10 (from 0.64 to 0.064)

5 次の数を10倍しましょう。(2点×10)

- ①  $0.9 \times 10 = 9$
- ②  $0.05 \times 10 = 0.5$
- ③  $0.26 \times 10 = 2.6$
- ④  $0.84 \times 10 = 8.4$
- ⑤  $3.7 \times 10 = 37$
- ⑥  $2.61 \times 10 = 26.1$
- ⑦  $1.03 \times 10 = 10.3$
- ⑧  $9.09 \times 10 = 90.9$
- ⑨  $0.752 \times 10 = 7.52$
- ⑩  $4.006 \times 10 = 40.06$

6 次の数を10でわりましょう。(2点×10)

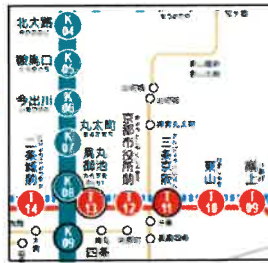
- ①  $8 \div 10 = 0.8$
- ②  $0.6 \div 10 = 0.06$
- ③  $0.04 \div 10 = 0.004$
- ④  $0.51 \div 10 = 0.051$
- ⑤  $5.3 \div 10 = 0.53$
- ⑥  $8.97 \div 10 = 0.897$
- ⑦  $1.02 \div 10 = 0.102$
- ⑧  $4.09 \div 10 = 0.409$
- ⑨  $0.567 \div 10 = 0.0567$
- ⑩  $3.002 \div 10 = 0.3002$

② 小数の見方や仕組みをもとにして、小数の加法や減法の計算の仕方を考える。

② 小数の加法や減法も、筆算で計算することができる。

|    |    |    |            |     |   |
|----|----|----|------------|-----|---|
| 30 | 基本 | 小数 | 小数のたし算・ひき算 | 学習日 | / |
|----|----|----|------------|-----|---|

1 北大路駅に集合して、地下鉄に乗って蹴上に行きます。北大路から烏丸御池までは3.82kmで、ここで乗りかえます。また、烏丸御池から蹴上までは3.15kmです。全体の道のりは何kmになりますか。(8×4点)



(1) 式を書きましょう。 式  $3.82 + 3.15$

(2) 計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。



① 0.01がいくつかを考えると、3.82は0.01が382こ、3.15は0.01が315こだから、あわせて0.01が697こになります。だから、答えは6.97 kmです。



② 位ごとに分けて考えると、1があわせて6こ、0.1があわせて9こ、0.01があわせて7こになります。だから、答えは6.97 kmです。

③ 筆算ですと、位(小数点)がたてにならぶように書いて整数の時と同じように計算して、答えは6.97 kmになります。

$$\begin{array}{r} 3.82 \\ + 3.15 \\ \hline 6.97 \end{array}$$

2 大きいそうじ機の重さは6.84kgです。小さいそうじ機の重さは3.62kgです。重さのちがいは何kgですか。(16点)

(式)  $6.84 - 3.62 = 3.22$  (kg)

$$\begin{array}{r} 6.84 \\ - 3.62 \\ \hline 3.22 \end{array}$$



答え( 3.22 kg )

筆算をかくときに、小数点の位置をそろえることをわすれないでね。

3 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

①  $\begin{array}{r} 4.76 \\ + 6.48 \\ \hline 11.24 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 6.00 \\ + 7.59 \\ \hline 13.59 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 5.47 \\ + 8.20 \\ \hline 13.67 \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 2.09 \\ + 5.91 \\ \hline 8.00 \end{array}$

⑤  $\begin{array}{r} 5.38 \\ + 1.27 \\ \hline 6.65 \end{array}$     ⑥  $\begin{array}{r} 7.03 \\ + 3.05 \\ \hline 10.08 \end{array}$     ⑦  $\begin{array}{r} 6.09 \\ + 0.96 \\ \hline 7.05 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 6 + 7.34 \\ + 7.34 \\ \hline 13.34 \end{array}$     ⑨  $\begin{array}{r} 8.74 \\ + 3.00 \\ \hline 11.74 \end{array}$     ⑩  $\begin{array}{r} 5.6 \\ + 9.72 \\ \hline 15.32 \end{array}$

⑪  $\begin{array}{r} 4.67 \\ + 2.33 \\ \hline 7.00 \end{array}$     ⑫  $\begin{array}{r} 9.26 \\ + 0.74 \\ \hline 10.00 \end{array}$     ⑬  $\begin{array}{r} 7.52 \\ + 3.28 \\ \hline 10.80 \end{array}$

4 次の計算を筆算でしましょう。

(2点×13)

①  $\begin{array}{r} 8.94 \\ - 5.68 \\ \hline 3.26 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 8.35 \\ - 5.57 \\ \hline 2.78 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 7.26 \\ - 3.80 \\ \hline 3.46 \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 5.00 \\ - 3.29 \\ \hline 1.71 \end{array}$

⑤  $\begin{array}{r} 9.57 \\ - 3.68 \\ \hline 5.89 \end{array}$     ⑥  $\begin{array}{r} 7.46 \\ - 5.47 \\ \hline 1.99 \end{array}$     ⑦  $\begin{array}{r} 9.04 \\ - 0.85 \\ \hline 8.19 \end{array}$

⑧  $\begin{array}{r} 6.31 \\ - 5.46 \\ \hline 0.85 \end{array}$     ⑨  $\begin{array}{r} 8.02 \\ - 4.71 \\ \hline 3.31 \end{array}$     ⑩  $\begin{array}{r} 7.46 \\ - 3.40 \\ \hline 4.06 \end{array}$

⑪  $\begin{array}{r} 9.63 \\ - 4.30 \\ \hline 5.33 \end{array}$     ⑫  $\begin{array}{r} 5.00 \\ - 0.52 \\ \hline 4.48 \end{array}$     ⑬  $\begin{array}{r} 7.00 \\ - 2.37 \\ \hline 4.63 \end{array}$

1 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

1 L = 10 dL

① 95 dL =  L

1 km = 1000 m

③ 4178 m =  km

1 m = 100 cm

② 346 cm =  m

1 kg = 1000 g

④ 623 g =  kg

2 にはあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

1 m = 100 cm

① 2.64 m =  cm

1 km = 1000 m

③ 0.943 km =  m

1 kg = 1000 g

② 1.771 kg =  g

1 kg = 1000 g

④ 3.002 kg =  g

3 4.926はどんな数ですか。にあてはまる数をかきましょう。(4点×3)

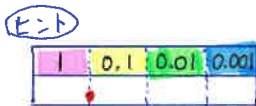
(1) 1をこ, 0.1をこ, 0.01をこ, 0.001をこ あわせた数です。

(2) 4とをあわせた数です。

(3) 0.001をこ 集めた数です。



4 次の数をかきましょう。(4点×4)



(1) 0.1を5こと 0.01を9こ あわせた数

(2) 0.01を8こと 0.001を2こ あわせた数

(3) 0.01を718こ 集めた数

(4) 0.001を403こ 集めた数

5 次の㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺にあたる数は何ですか。(2点×5)



㊶       ㊷       ㊸

㊹       ㊺

6 次の数を10倍しましょう。値が1つ上がり、小数点が1つ右に移ります。(2点×4)

①  $4.95 \times 10 = 49.5$       ②  $5.09 \times 10 = 50.9$

③  $6.753 \times 10 = 67.53$       ④  $0.048 \times 10 = 0.48$

7 次の数を10でわりましょう。値が1つ下がり、小数点が1つ左に移ります。(2点×4)

①  $1.3 \div 10 = 0.13$       ②  $0.7 \div 10 = 0.07$

③  $8.94 \div 10 = 0.894$       ④  $0.02 \div 10 = 0.002$

8 次の計算を筆算でしましょう。小数点をそろえて計算しよう。(2点×11)

①  $6.48 + 2.29$

$$\begin{array}{r} 6.48 \\ + 2.29 \\ \hline 8.77 \end{array}$$

④  $7 + 5.88$

$$\begin{array}{r} 7.00 \\ + 5.88 \\ \hline 12.88 \end{array}$$

⑥  $9.98 - 6.63$

$$\begin{array}{r} 9.98 \\ - 6.63 \\ \hline 3.35 \end{array}$$

⑨  $5 - 3.2$

$$\begin{array}{r} 5.0 \\ - 3.2 \\ \hline 1.8 \end{array}$$

②  $5.86 + 3.4$

$$\begin{array}{r} 5.86 \\ + 3.40 \\ \hline 9.26 \end{array}$$

⑤  $4.62 + 5.38$

$$\begin{array}{r} 4.62 \\ + 5.38 \\ \hline 10.00 \end{array}$$

⑦  $8.14 - 4.97$

$$\begin{array}{r} 8.14 \\ - 4.97 \\ \hline 3.17 \end{array}$$

⑩  $3.1 - 1.59$

$$\begin{array}{r} 3.10 \\ - 1.59 \\ \hline 1.51 \end{array}$$

③  $4.69 + 3.21$

$$\begin{array}{r} 4.69 \\ + 3.21 \\ \hline 7.90 \end{array}$$

⑧  $7.05 - 6.85$

$$\begin{array}{r} 7.05 \\ - 6.85 \\ \hline 0.20 \end{array}$$

⑪  $8 - 0.07$

$$\begin{array}{r} 8.00 \\ - 0.07 \\ \hline 7.93 \end{array}$$



◎ (2位数)÷(2位数), 何十でわって, 商が1桁になる計算ができる。

|    |    |              |          |     |   |
|----|----|--------------|----------|-----|---|
| 32 | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | 何十でわるわり算 | 学習日 | / |
|----|----|--------------|----------|-----|---|

1 60円持って買い物に行きました。あとの問題に答えましょう。(8点×2)

(1) 1に6円のあめは何こ買えますか。

(式)  $60 \div 6 = 10$

答え  $10$  こ

(2) 1に20円のあめは何こ買えますか。



を使って, 計算のしかたを考えましょう。



★10円玉の6こと 2こをくらべて, 商を3と見当をつけます。

20を3倍すると60になるので,

(式)  $60 \div 20 = 3$

答え  $3$  こになります。

2 80円で, 1に30円のみかんは何こ買えますか。(10点)



★10円玉の8こと 3こをくらべて, 商を2と見当をつけます。

30を2倍すると60で, 20あまります。

(式)  $80 \div 30 = 2$  あまり  $20$

割る数×商+あまり=わられる数の式で答えをたしかめましょう。



答え  $2$  こ, あまり  $20$  円 になります。

3 つぎのわり算をしましょう。(2点×12)

- |                             |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ① $40 \div 20 = 2$          | ② $80 \div 20 = 4$          | ③ $50 \div 10 = 5$          |
| ④ $60 \div 30 = 2$          | ⑤ $80 \div 40 = 2$          | ⑥ $90 \div 30 = 3$          |
| ⑦ $30 \div 20 = 1 \dots 10$ | ⑧ $70 \div 30 = 2 \dots 10$ | ⑨ $80 \div 50 = 1 \dots 30$ |
| ⑩ $70 \div 20 = 3 \dots 10$ | ⑪ $90 \div 40 = 2 \dots 10$ | ⑫ $80 \div 30 = 2 \dots 20$ |

◎ (3位数)÷(2位数), 何十でわって, 商が1桁になる計算ができる。

4 120円で, 1に30円のみかんは何こ買えますか。(10点)



★10円玉の12こと 3こをくらべて, 商を4と見当をつけます。

30を4倍すると120になります。

(式)  $120 \div 30 = 4$

答え  $4$  こ

5 150円で, 1本40円のえん<sup>び</sup>筆は何本買えて, 何円あまりますか。(10点)



★10円玉の15こと 4こをくらべて, 商を3と見当をつけます。

40を3倍すると120で, 30円あまります。

(式)  $150 \div 40 = 3$  あまり  $30$

答え  $3$  本, あまり  $30$  円

6  $160 \div 30$ の計算を下のようにしました。まちがいをみつけて, 正しい答えをかきましょう。(6点)

$160 \div 30 = 5$  あまり ~~8~~  
 $5$  あまり  $10$

7 つぎのわり算をしましょう。(2点×12)

- |                              |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ① $180 \div 30 = 6$          | ② $250 \div 50 = 5$          | ③ $480 \div 60 = 8$          |
| ④ $140 \div 20 = 7$          | ⑤ $560 \div 70 = 8$          | ⑥ $400 \div 80 = 5$          |
| ⑦ $130 \div 20 = 6 \dots 10$ | ⑧ $250 \div 40 = 6 \dots 10$ | ⑨ $510 \div 60 = 8 \dots 30$ |
| ⑩ $370 \div 80 = 4 \dots 50$ | ⑪ $700 \div 90 = 7 \dots 70$ | ⑫ $600 \div 70 = 8 \dots 40$ |

㊦ (2位数)÷(2位数)で商が1桁になる筆算(仮商の修正なし)

|           |    |              |              |     |   |
|-----------|----|--------------|--------------|-----|---|
| <b>33</b> | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | 商が1けたになる筆算-1 | 学習日 | / |
|-----------|----|--------------|--------------|-----|---|

1 84÷21の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。(10点)

- (1) 84を80, 21を20とみて, 80÷20から商の見当をつけます。
- (2) 商を4と見当をつけて, 21を4倍すると84になります。
- (3) 84÷21=4になります。

2 80÷20と 84÷21の筆算のしかたを考えましょう。(8点×2)

(1) 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   | × | 4 |
| 2 | 0 | 8 | 0 |   |
|   |   | 8 | 0 |   |
|   |   |   |   | 0 |

 ① 十の位アに商はたちません。...×のどこ

② 8÷2で, 一の位のイに4をたてて

③ 20に4をかけてウに80をかきます。

④ 80から80をひいてエに0をかきます。

(2) 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 4 |
| 2 | 1 | 8 | 4 |   |
|   |   | 8 | 4 |   |
|   |   |   |   | 0 |

 ① 十の位アに商はたちません。

② 8÷2で, 一の位のイに4をたてて

③ 21に4をかけてウに84をかきます。

④ 84から84をひいてエに0をかきます。

3 次の計算を筆算でしましょう。①→⑧の順にやろう。(3点×8)

① 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 |
| 3 | 2 | 6 | 4 |
|   |   | 6 | 4 |
|   |   |   | 0 |

 ② 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 |
| 1 | 2 | 3 | 6 |
|   |   | 3 | 6 |
|   |   |   | 0 |

 ③ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 4 |
| 2 | 2 | 8 | 8 |
|   |   | 8 | 8 |
|   |   |   | 0 |

 ④ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 |
| 2 | 3 | 6 | 9 |
|   |   | 6 | 9 |
|   |   |   | 0 |

⑤ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 |
| 2 | 4 | 7 | 2 |
|   |   | 7 | 2 |
|   |   |   | 0 |

 ⑥ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 |
| 4 | 7 | 9 | 4 |
|   |   | 9 | 4 |
|   |   |   | 0 |

 ⑦ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 |
| 2 | 5 | 7 | 5 |
|   |   | 7 | 5 |
|   |   |   | 0 |

 ⑧ 

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   |   | 4 |
| 2 | 3 | 9 | 2 |
|   |   | 9 | 2 |
|   |   |   | 0 |

㊦ (3位数)÷(2位数)で商が1桁になる筆算(仮商の修正なし)

4 170÷34と 173÷33の筆算のしかたを考えましょう。(8点×2)

(1) 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   | × | 5 |
| 3 | 4 | 1 | 7 | 0 |
|   |   | 1 | 7 | 0 |
|   |   |   |   | 0 |

 ① 百の位や十の位に商はたちません。...×のどこ

② 170÷30と考え, 17÷3で商の見当をつけます。一の位のアに5をたてて

③ 34に5をかけてイに170をかきます。

④ 170から170をひいてウに0をかきます。

(2) 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 5 |
| 3 | 3 | 1 | 7 | 3 |
|   |   | 1 | 6 | 5 |
|   |   |   |   | 8 |

 ① 百の位や十の位に商はたちません。

② 170÷30と考え, 17÷3で商の見当をつけます。一の位のアに5をたてて

③ 33に5をかけてイに165をかきます。

④ 173から165をひいてウにあまりの8をかきます。

5 次の計算を筆算でしましょう。(3点×8)

① 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 8 | 6 |
|   |   | 1 | 8 | 6 |
|   |   |   |   | 0 |

 ② 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 3 |
| 4 | 3 | 1 | 2 | 9 |
|   |   | 1 | 2 | 9 |
|   |   |   |   | 0 |

 ③ 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 6 |
| 2 | 3 | 1 | 3 | 8 |
|   |   | 1 | 3 | 8 |
|   |   |   |   | 0 |

 ④ 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 8 |
| 5 | 4 | 4 | 3 | 2 |
|   |   | 4 | 3 | 2 |
|   |   |   |   | 0 |

⑤ 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 6 |
| 2 | 2 | 1 | 3 | 8 |
|   |   | 1 | 3 | 2 |
|   |   |   |   | 6 |

 ⑥ 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 3 |
| 4 | 5 | 1 | 4 | 1 |
|   |   | 1 | 3 | 5 |
|   |   |   |   | 6 |

 ⑦ 

|   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|----|
|   |   |   |   | 5  |
| 3 | 2 | 1 | 7 | 6  |
|   |   | 1 | 6 | 0  |
|   |   |   |   | 16 |

 ⑧ 

|   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|----|
|   |   |   |   | 7  |
| 6 | 3 | 4 | 7 | 5  |
|   |   | 4 | 4 | 1  |
|   |   |   |   | 34 |

6 色紙が290まいあります。32人に同じ数ずつ配ると, 1人何まいになって何まいあまりますか。(10点)

(式)  $290 \div 32 = 9 \text{ まい} \text{ 残り } 2 \text{ まい}$

|    |   |     |   |
|----|---|-----|---|
|    |   |     | 9 |
| 32 | ) | 290 |   |
|    |   | 288 |   |
|    |   | 2   |   |

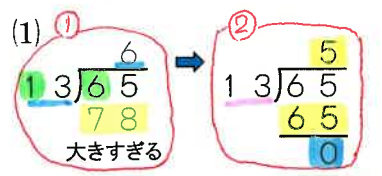
計算は筆算でしよう。

答え(1人 9 まい, 2 まいあまる)

② (2位数)・(3位数)÷(2位数)で商が1桁になる筆算(仮商の修正あり)

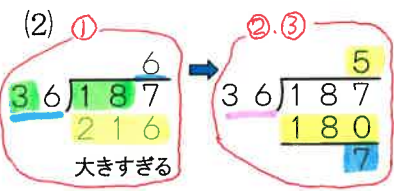
|    |    |              |              |     |   |
|----|----|--------------|--------------|-----|---|
| 34 | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | 商が1けたになる筆算-2 | 学習日 | / |
|----|----|--------------|--------------|-----|---|

1 65÷13と 187÷36と 169÷27の筆算のしかたを考えましょう。(10点×3)



見当をつけた商が大きすぎたときは、1小さい商をたてて計算してみましょう。

- ① 6÷1で、一の位に6をたてて13に6をかけると78になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい5にして13に5をかけると65になります。
- ③ 65から65をひいてあまりは0になります。



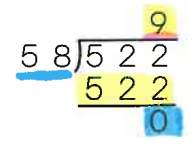
- ① 18÷3で、一の位に6をたてて36に6をかけると216になります。
- ② 見当をつけた商が大きすぎたので、商を1小さい5にして36に5をかけると180になります。
- ③ 187から180をひいてあまりは7になります。



見当をつけた商が大きすぎたときは、1ずつ小さくしていけばいいよ。

- ① 16÷2で、一の位に8をたてて26に8をかけると208になり、大きすぎ。
- ② 一の位に7をたてて26に7をかけると182になり、まだ大きすぎ。
- ③ 一の位に6をたてて26に6をかけると156になり、あまりが13になります。

2 522÷58の筆算のしかたを考えましょう。(10点)



商の見当をつけると10になるときは、まず、9をたててみましょう。

- ① 商は一の位にたつから、1けたです。
- ② 商の見当をつけると、52÷5で10になります。このようなときは、まず、9をたてましょう。
- ③ 58に9をかけると522になり、あまりは0になります。

3 次の計算を筆算でしましょう。(5点×12)

Ⅱ(1)のパターン→

|   |                                                                               |   |                                                                                       |   |                                                                                       |
|---|-------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | $\begin{array}{r} 3 \\ 14 \overline{) 42} \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$ | ② | $\begin{array}{r} 6 \dots 2 \\ 13 \overline{) 80} \\ \underline{78} \\ 2 \end{array}$ | ③ | $\begin{array}{r} 6 \dots 2 \\ 16 \overline{) 98} \\ \underline{96} \\ 2 \end{array}$ |
|---|-------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|

Ⅱ(2)のパターン→

|   |                                                                                 |   |                                                                                 |   |                                                                                           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④ | $\begin{array}{r} 5 \\ 25 \overline{) 125} \\ \underline{125} \\ 0 \end{array}$ | ⑤ | $\begin{array}{r} 6 \\ 37 \overline{) 222} \\ \underline{222} \\ 0 \end{array}$ | ⑥ | $\begin{array}{r} 5 \dots 39 \\ 54 \overline{) 309} \\ \underline{270} \\ 39 \end{array}$ |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|

Ⅱ(3)のパターン→

|   |                                                                                 |   |                                                                                           |   |                                                                                           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑦ | $\begin{array}{r} 6 \\ 27 \overline{) 162} \\ \underline{162} \\ 0 \end{array}$ | ⑧ | $\begin{array}{r} 7 \dots 10 \\ 39 \overline{) 283} \\ \underline{273} \\ 10 \end{array}$ | ⑨ | $\begin{array}{r} 6 \dots 12 \\ 28 \overline{) 180} \\ \underline{168} \\ 12 \end{array}$ |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|

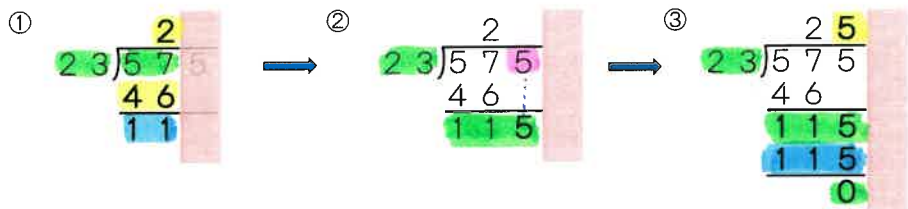
Ⅱ(4)のパターン→

|   |                                                                                 |   |                                                                                 |   |                                                                                           |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑩ | $\begin{array}{r} 9 \\ 46 \overline{) 414} \\ \underline{414} \\ 0 \end{array}$ | ⑪ | $\begin{array}{r} 8 \\ 26 \overline{) 208} \\ \underline{208} \\ 0 \end{array}$ | ⑫ | $\begin{array}{r} 9 \dots 13 \\ 69 \overline{) 634} \\ \underline{621} \\ 13 \end{array}$ |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|

◎ (3位数) ÷ (2位数) で 商が2桁になる筆算。

|           |    |              |               |     |   |
|-----------|----|--------------|---------------|-----|---|
| <b>35</b> | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | 商が2けた3けたになる筆算 | 学習日 | / |
|-----------|----|--------------|---------------|-----|---|

1 575 ÷ 23の筆算のしかたを考えましょう。 (14点)



- ① 57 ÷ 23で、十の位に2をたてて23に2をかけて46。57から46をひいて11。
- ② 一の位の5をおろして115。
- ③ 115 ÷ 23で、一の位に5をたてて23に5をかけて115。115から115をひいてあまりは0。



2 次の計算を筆算でしましょう。 (6点×6)

① 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 | 3 |
| 2 | 7 | 6 | 2 | 1 |
|   |   | 5 | 4 |   |
|   |   |   | 8 | 1 |
|   |   |   | 8 | 1 |
|   |   |   |   | 0 |

 ② 

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 4 | 3 |   |
| 1 | 6 | 6 | 8 | 8 |   |
|   |   |   | 6 | 4 |   |
|   |   |   |   | 4 | 8 |
|   |   |   |   | 4 | 8 |
|   |   |   |   |   | 0 |

 ③ 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 | 0 |
| 3 | 2 | 9 | 6 | 0 |
|   |   |   | 9 | 6 |
|   |   |   |   | 0 |

④ 

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 | 4 |   |
| 3 | 5 | 8 | 6 | 7 |   |
|   |   |   | 7 | 0 |   |
|   |   |   | 1 | 6 | 7 |
|   |   |   | 1 | 4 | 0 |
|   |   |   |   | 2 | 7 |

 ...27 ⑤ 

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 | 8 |   |
| 1 | 8 | 6 | 9 | 3 |   |
|   |   |   | 5 | 4 |   |
|   |   |   | 1 | 5 | 3 |
|   |   |   | 1 | 4 | 4 |
|   |   |   |   | 9 |   |

 ...9 ⑥ 

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 3 | 0 |   |
| 2 | 4 | 7 | 3 | 9 |   |
|   |   |   | 7 | 2 |   |
|   |   |   |   | 1 | 9 |

 ...19

◎ (4位数) ÷ (2位数), (4位数) ÷ (3位数) の筆算。

3 (例) にならって、次の計算を筆算でしましょう。 (6点×6)

(例1)  $96 \div 37$  で 2 をたてる  
 $229 \div 37$  で 6 をたてる  
 $74 \div 37 = 2$

$$\begin{array}{r} 262 \\ 37 \overline{) 9694} \\ \underline{74} \phantom{0} \\ 229 \phantom{0} \\ \underline{222} \phantom{0} \\ 74 \phantom{0} \\ \underline{74} \\ 0 \end{array}$$

①

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 | 1 | 3 |   |
| 1 | 4 | 2 | 9 | 8 | 2 |   |
|   |   |   | 2 | 8 |   |   |
|   |   |   |   | 1 | 8 |   |
|   |   |   |   | 1 | 4 |   |
|   |   |   |   |   | 4 | 2 |
|   |   |   |   |   | 4 | 2 |
|   |   |   |   |   |   | 0 |

②

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 | 7 | 4 |   |
| 2 | 6 | 7 | 1 | 3 | 5 |   |
|   |   |   | 5 | 2 |   |   |
|   |   |   | 1 | 9 | 3 |   |
|   |   |   | 1 | 8 | 2 |   |
|   |   |   |   | 1 | 1 | 5 |
|   |   |   |   | 1 | 0 | 4 |
|   |   |   |   |   | 1 | 1 |

(例2)  $54 \times 54$

$$\begin{array}{r} 54 \\ \times 54 \\ \hline 18 \\ 225 \\ \hline 2916 \end{array}$$

③

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 6 | 3 |   |
| 3 | 2 | 2 | 0 | 1 | 6 |
|   |   |   | 1 | 9 | 2 |
|   |   |   |   | 9 | 6 |
|   |   |   |   | 9 | 6 |
|   |   |   |   |   | 0 |

④

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 8 | 4 |   |   |
| 5 | 3 | 4 | 4 | 5 | 8 |   |
|   |   |   | 4 | 2 | 4 |   |
|   |   |   |   | 2 | 1 | 8 |
|   |   |   |   | 2 | 1 | 2 |
|   |   |   |   |   |   | 6 |

(例3)  $23 \div 326$

$$\begin{array}{r} 23 \\ 326 \overline{) 7498} \\ \underline{652} \phantom{0} \\ 978 \phantom{0} \\ \underline{978} \\ 0 \end{array}$$

⑤

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 1 | 4 |   |   |
| 1 | 5 | 4 | 2 | 1 | 5 | 6 |   |
|   |   |   |   | 1 | 5 | 4 |   |
|   |   |   |   |   | 6 | 1 | 6 |
|   |   |   |   |   | 6 | 1 | 6 |
|   |   |   |   |   |   |   | 0 |

⑥

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 2 | 7 |   |   |   |
| 2 | 3 | 9 | 6 | 4 | 6 | 9 |   |   |
|   |   |   |   | 4 | 7 | 8 |   |   |
|   |   |   |   | 1 | 6 | 8 | 9 |   |
|   |   |   |   | 1 | 6 | 7 | 3 |   |
|   |   |   |   |   |   |   | 1 | 6 |

4 952まいの色紙を、クラスの34人で同じ数ずつ分けたいと思います。1人に何まいずつ分ければよいですか。 (14点)

(式)  $952 \div 34 = 28$  (まい)

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 2 | 8 |   |
| 3 | 4 | 9 | 5 | 2 |   |
|   |   |   | 6 | 8 |   |
|   |   |   | 2 | 7 | 2 |
|   |   |   | 2 | 7 | 2 |
|   |   |   |   |   | 0 |

答え [ 28 まい ]

② 2桁でわるわり算の筆算(練習問題)

|           |    |              |    |     |   |
|-----------|----|--------------|----|-----|---|
| <b>36</b> | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | 練習 | 学習日 | / |
|-----------|----|--------------|----|-----|---|

1 しおりさんは、 $789 \div 34$ の計算のまちがいを説明しています。(10点)

$$\begin{array}{r} \cancel{3} \quad 3 \\ 34 \overline{) 789} \\ \underline{68} \phantom{0} \\ 109 \\ \underline{102} \\ 7 \end{array}$$

2は百の位ではなく  
て、十の位にたちます。



★ しおりさんに習って、 $955 \div 28$ の計算のまちがいを説明してみましょう。

$$\begin{array}{r} \cancel{3} \quad 4 \\ 28 \overline{) 955} \\ \underline{84} \phantom{0} \\ 115 \\ \underline{112} \\ 3 \end{array}$$

3は百の位ではなくて、十の位にたちます。

2 商とあまりを求めて、答えのたしかめましょう。(3点×6)

①  $80 \div 50 = 1 \dots 30$       ②  $300 \div 40 = 7 \dots 20$       ③  $470 \div 60 = 7 \dots 50$   
 $50 \times 1 + 30 = 80$        $40 \times 7 + 20 = 300$        $60 \times 7 + 50 = 470$

④  $24 \overline{) 61}$       ⑤  $17 \overline{) 99}$       ⑥  $36 \overline{) 320}$   
 $24 \times 2 + 13 = 61$        $17 \times 5 + 14 = 99$        $36 \times 8 + 32 = 320$

3 次の計算を筆算でしましょう。(5点×4)

①  $28 \overline{) 56}$       ②  $14 \overline{) 80}$       ③  $44 \overline{) 396}$       ④  $57 \overline{) 432}$

4 次の計算を筆算でしましょう。(5点×6)

①  $36 \overline{) 828}$       ②  $29 \overline{) 775} \dots 21$       ③  $18 \overline{) 720}$

④  $45 \overline{) 6120}$       ⑤  $39 \overline{) 3399}$       ⑥  $238 \overline{) 6549} \dots 123$

5 クラスの29人に同じ数ずつ配るために、鉛筆を232本あずかりました。1人に何本ずつ配ればよいですか。(10点)

(式)

$$232 \text{ (本)} \div 29 = 8 \text{ (本)}$$

$$\begin{array}{r} 8 \\ 29 \overline{) 232} \\ \underline{232} \\ 0 \end{array}$$

答え〔 8本 〕

6 りんごが247ことれました。35こずつ箱に入れていくと、何箱できて、何こあまりますか。(12点)

(式)

$$247 \text{ (こ)} \div 35 \text{ (こ)} = 7 \text{ 箱} \text{ 2こあまる}$$

$$\begin{array}{r} 7 \dots 2 \\ 35 \overline{) 247} \\ \underline{245} \\ 2 \end{array}$$



答え〔 7箱できて2こあまる 〕

㊦ わられる数, わる数に 同じ数をかけても, 同じ数でわっても商は同じである。

|           |    |              |          |     |   |
|-----------|----|--------------|----------|-----|---|
| <b>37</b> | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | わり算のせいしつ | 学習日 | / |
|-----------|----|--------------|----------|-----|---|

1  $6 \div 2$ ,  $60 \div 20$ ,  $600 \div 200$  の計算について考えます。□にあてはまる数やことばを書きましょう。(5点×6)

㊦  $6 \div 2 = 3$  

㊧  $60 \div 20 = 3$  

㊨  $600 \div 200 = 3$  

- (1) ㊦, ㊧, ㊨の計算の答えは, どれも **3** です。
- (2) わられる数と わる数をくらべると, どちらも㊧は㊦の **10** 倍になっています。また, ㊨は㊦の **100** 倍になっています。
- (3) わり算では, わられる数と わる数に **同じ数をかけても, 同じ数でわっても 商は同じ** になります。(わり算の答えは)
- (4)  $6 \div 2$  の答えと,  $(6 \times 5) \div (2 \times 5)$  の答えは同じです。
- (5)  $60 \div 20$  の答えと,  $(60 \div 2) \div (20 \div 2)$  の答えは同じです。
- (6)  $600 \div 200$  の計算は,  $6 \div 2$  の計算をすればわかります。

2 わり算のせいしつを使って, 次の計算をしましょう。(3点×6)

- ①  $600 \div 200 = 3$       ②  $2400 \div 400 = 6$       ③  $18万 \div 6万 = 3$
- ④  $240万 \div 80万 = 8$       ⑤  $600 \div 25 = 24$  4倍する  
 $2400 \div 100$       ⑥  $300 \div 25 = 12$  4倍する  
 $1200 \div 100$

㊦ わり算の性質を活用して,工夫して計算する。

3  $4800 \div 120$  と答えが同じになるわり算を, ㊦~㊨の中からすべて選び, 記号で答えましょう。(10点)

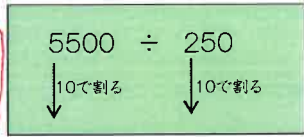
- ㊦  $480 \div 120 = (480 \div 12)$       ㊧  $2400 \div 60$  (2でわったもの)
- ㊨  $480 \div 12$       ㊩  $80 \div 2$  (10でわって, 6でわったもの) (㊦, ㊨, ㊩)

4  $5500 \div 250$  の計算をします。□にあてはまる数をかきましょう。(10点×3)

(1) 5500と250のどちらにも0があるので, それぞれを10でわります。

$5500 \div 250 = 550 \div 25 = 22$  になります。

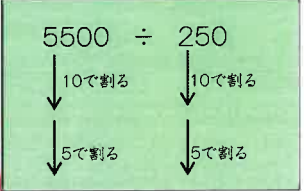
これは筆算しなければできません。



(2) わる数を1けたにします。まず, それぞれを10でわって, さらに5でわります。

$5500 \div 250 = 550 \div 25 = 110 \div 5 = 22$  になります。

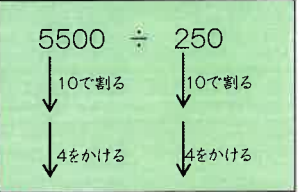
この計算は暗算でしましょう。



(3)  $25 \times 4 = 100$  を使って考えます。まず, それぞれを10でわって, 4をかけます。

$5500 \div 250 = 550 \div 25 = 2200 \div 100 = 22$  になります。

$550 \times 4$  の計算は, できる人は暗算でやりましょう。



5  $7000 \div 250$  をくふうして計算しましょう。また, どのように考えたのかをかきましょう。(12点)

(例) 10でわって,  $700 \div 25$  にして, 4をかけて,  $2800 \div 100 = 28$

(別) (4をかけると,  $28000 \div 1000 = 28$  でもいいです。)

⑩ 学習内容の理解を確認する。

|           |    |              |     |     |   |
|-----------|----|--------------|-----|-----|---|
| <b>38</b> | 基本 | 2けたでわるわり算の筆算 | まとめ | 学習日 | / |
|-----------|----|--------------|-----|-----|---|

1 つぎのわり算をしましょう。 (あまりの位に気づいて!) (2点×12)

- ①  $30 \div 10 = 3$       ②  $90 \div 30 = 3$       ③  $80 \div 20 = 4$   
 ④  $40 \div 30 = 1 \dots 10$       ⑤  $90 \div 20 = 4 \dots 10$       ⑥  $70 \div 40 = 1 \dots 30$   
 ⑦  $150 \div 50 = 3$       ⑧  $490 \div 70 = 7$       ⑨  $300 \div 60 = 5$   
 ⑩  $210 \div 40 = 5 \dots 10$       ⑪  $520 \div 60 = 8 \dots 40$       ⑫  $700 \div 80 = 8 \dots 60$

2 2けたの数でわるわり算のしかたをまとめます。□にあてはまる数やことばをかきましょう。 (2点×3)

$$\begin{array}{r} 23 \\ 37 \overline{) 851} \\ \underline{74} \phantom{0} \\ 111 \\ \underline{111} \\ 0 \end{array}$$

- ① 商は□の位からたちます。  
 ② 十の位には、□ $\div$ □で2をたてます。  
 ③ 一の位には、□ $\div$ 37で3をたてます。

3 次の計算をしましょう。 (1の位まで計算し、あまりのあるものはあまりを出す。) (4点×7)

①  $23 \overline{) 69}$       ②  $36 \overline{) 72}$       ③  $25 \overline{) 90} \dots 15$       ④  $17 \overline{) 73} \dots 5$

⑤  $43 \overline{) 301}$       ⑥  $48 \overline{) 452} \dots 20$       ⑦  $26 \overline{) 874} \dots 16$

4 次の計算をしましょう。 (1の位まで計算する) (5点×3)

①  $24 \overline{) 9024}$       ②  $37 \overline{) 2528} \dots 12$       ③  $256 \overline{) 7035} \dots 123$

5 次の㉑～㉓で、上の式と下の式の商が同じものには○を、ちがうものには×をつけましょう。 (3点×6)

- ㉑  $60 \div 20$       ㉒  $280 \div 70$       ㉓  $480 \div 80$   
 $600 \div 20$        $2800 \div 7$        $240 \div 40$  (2でわったもの)  
 [ X ]      [ X ]      [ O ]
- ㉔  $60 \div 20$  (10倍した)      ㉕  $280 \div 70$       ㉖  $480 \div 80$   
 $600 \div 200$        $28 \div 7$  (10でわった)       $120 \div 40$   
 [ O ]      [ O ]      [ X ]

6 画用紙が583まいあります。この画用紙を48人の生徒に同じ数ずつ配ります。1人分は何まいで、何まいあまりありますか。 (9点)

(式)  $583 \div 48 = 12 \text{ あまり } 7$   
 (まい)      (まい)      (まい)

$$\begin{array}{r} 12 \dots 7 \\ 48 \overline{) 583} \\ \underline{48} \phantom{0} \\ 103 \\ \underline{96} \\ 7 \end{array}$$

答え [ 1人分…12まい, 7まいあまる ]

◎ 2つの数量の割合を比較することができる。(割合の第1用法)

|    |    |    |          |     |   |
|----|----|----|----------|-----|---|
| 39 | 基本 | 割合 | くらべよう・割合 | 学習日 | ／ |
|----|----|----|----------|-----|---|

1 サッカー大会で、入れた得点をくらべます。

村川選手 去年の得点[1点] → 今年の得点[4点]  
 青木選手 去年の得点[3点] → 今年の得点[6点]



(1) □にあてはまる数を書きましょう。(5点×2)

村川選手の今年の得点は、去年よりも3点多くなりました。  $4 - 1 = 3$ (点)  
 また、青木選手の今年の得点は、去年よりも3点多くなりました。  $6 - 3 = 3$ (点)

(2) 村川選手と青木選手では、どちらのほうが得点のがびたといえますか。また、その理由も書きましょう。(自由)(10点)

(例)  
 ○どちらも3点多くなっているのと同じです。  
 ○もとの得点が低い村川選手のほうがのびたといえます。 など

どちらも、去年とくらべると今年の得点は3点多くなっています。  
 このとき、去年の得点をもとの得点といいます。(もとにする量)  
 また、2つのものの量や大きさの関係をくらべる時、ある量をもとにして、その何倍になっているかでくらべることがあります。



(3) 村川選手と青木選手について、それぞれ、もとの得点の何倍が今年の得点になっているかでくらべてみましょう。(10点×2)

(村川選手)

$$4 \div 1 = 4 \text{ (倍)}$$

(式)

答え[ 4 倍]

(青木選手)

$$6 \div 3 = 2 \text{ (倍)}$$

(式)

答え[ 2 倍]

|      | もとの得点 | 今年の得点 |
|------|-------|-------|
| 村川選手 | 1点    | 4点    |
| 青木選手 | 3点    | 6点    |

何倍かでくらべると、青木選手よりも、村川選手のほうが、得点のがびたといえるね。

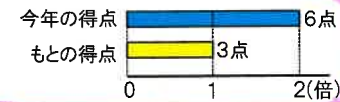


◎ 何倍かの関係にある2量のうち一方がわからない場面でもその量を求めることができる。

もとの得点の何倍が今年の得点になっているかでくらべると、村川選手は4倍、青木選手は2倍になっています。  
 このように何倍にあたるかを表した数を割合といいます。



もとの得点 × 何倍にあたるか = 今年の得点  
 3点 の 2倍 が 6点



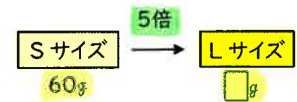
「3点の2倍が6点」というのは、「3点を1としたとき、6点が2にあたる大きさ」といいかえることができます。

2 SサイズとMサイズとLサイズのフライドポテトがあります。(10点×2)

(1) Sサイズの重さ60gの5倍がLサイズの重さです。Lサイズの重さは何gですか。

$$(式) 60(g) \times 5 = 300(g)$$

答え( 300g )

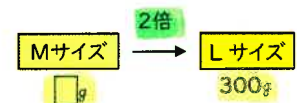


(2) Mサイズの重さの2倍がLサイズの重さ300gです。Mサイズの重さは何gですか。

$$(式) \square \times 2 = 300 \text{ より}$$

$$300(g) \div 2 = 150(g)$$

答え( 150g )



3 子ども会に、男の子が18人集まりました。また、女の子は男の子の2倍集まりました。女の子は何人集まりましたか。(20点)

$$(式) 18 \text{ (男の子)} \times 2 = \square \text{ (女の子) より}$$

$$18 \text{ (人)} \times 2 = 36 \text{ (人)}$$

答え( 36人 )

4 赤いリボンの長さは金色のリボンの長さの7倍で、21mあります。金色のリボンの長さは何mですか。(20点)

$$(式) \square \times 7 = 21 \text{ より}$$

$$21 \text{ (m)} \div 7 = 3 \text{ (m)}$$

答え( 3m )

◎ □×a×b=Cの場面で、□を求めるのに順に考えたり、まとめて考えたりして解く。

|    |    |        |            |     |   |
|----|----|--------|------------|-----|---|
| 40 | 基本 | 何倍でしょう | 何倍になるかを考えて | 学習日 | / |
|----|----|--------|------------|-----|---|

1 高層マンションの高さは90mで、鉄とうの高さの2倍です。  
また、鉄とうの高さは、学校の高さの3倍です。学校の高さは何mですか。 (10点×2)

(1) まず、鉄とうの高さをもとめてときましょう。

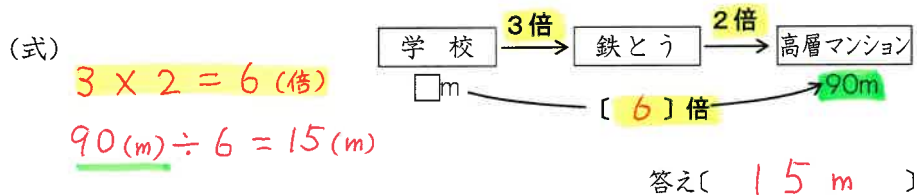
(式)  $90(m) \div 2 = 45(m)$  ... 鉄とう

$45(m) \div 3 = 15(m)$

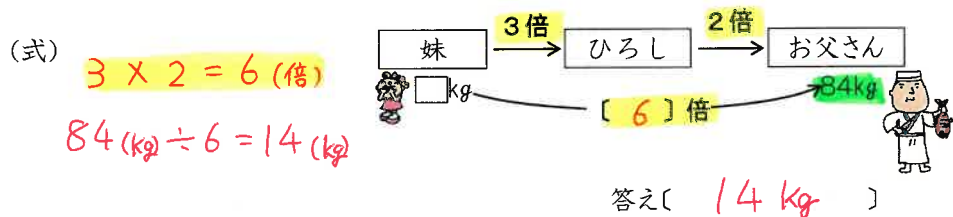
答え [ 15 m ]



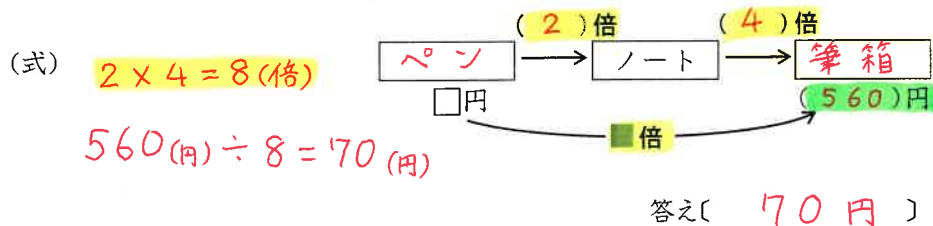
(2) 高層マンションの高さが、学校の高さの何倍になるかを考えてときましょう。



2 ひろし君のお父さんの体重は84kgで、ひろし君の体重の2倍あります。また、ひろし君の体重は、妹の体重の3倍あります。妹の体重は何kgですか。お父さんの体重が妹の体重の何倍になるかを考えてときましょう。 (15点)



3 筆箱とノートとペンを買いました。筆箱は560円でノートのねだんの4倍です。ノートのねだんは、ペンのねだんの2倍です。ペンのねだんは何円ですか。図をかんせいさせてからときましょう。 (15点)



4 かん入りのアメの数は128で、これはふくろ入りの2倍です。また、ふくろ入りのアメの数は、箱入りの4倍です。箱入りのアメの数は何個ですか。 (10点×2)

(1) まず、ふくろ入りのアメの数をもとめてときましょう。

(式)  $128(\text{こ}) \div 2 = 64(\text{こ})$  ... 箱入り

$64(\text{こ}) \div 4 = 16(\text{こ})$

答え [ 16 こ ]



(2) かん入りのアメの数が、箱入りのアメの数の何倍になるかを考えてときましょう。

(式)  $4 \times 2 = 8$  (倍)

$128(\text{こ}) \div 8 = 16(\text{こ})$

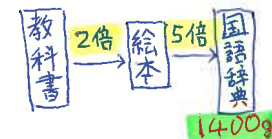
答え [ 16 こ ]

5 教科書・絵本・国語辞典があります。国語辞典の重さは1400gで、これは絵本の5倍の重さです。また、絵本の重さは教科書の2倍です。 (10点×2)

(1) 国語辞典は教科書の何倍の重さですか。

(式)  $2 \times 5 = 10$  (倍)

答え [ 10 倍 ]



(2) 教科書の重さは何gですか。

(式)  $1400(g) \div 10 = 140(g)$

答え [ 140 g ]

6 赤いテープの長さは360cmで、白いテープの長さの3倍です。白いテープの長さは、青いテープの長さの3倍です。青いテープの長さは何cmですか。(10点)

(式)  $3 \times 3 = 9$  (倍)

$360(\text{cm}) \div 9 = 40(\text{cm})$

答え [ 40 cm ]



◎ ( ) を使って1つの式に表したり、その計算の順序を考えたりすることができる。

|    |    |          |            |     |   |
|----|----|----------|------------|-----|---|
| 41 | 基本 | 式と計算の順じよ | 式とその計算の順じよ | 学習日 | ／ |
|----|----|----------|------------|-----|---|

1 次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1) 140円のジュースを買って、500円出したとき。  $500 - 140$

(2) 230円のポテトを買って、500円出したとき。  $500 - 230$



これらの計算は、次のことばの式にかくことができます。

出したお金 - 代金 = おつり

2 140円のジュースと230円のポテトを買って、500円出しました。ことばの式をもとにして、次のおつりを求める計算を式にかきましょう。(5点×2)

(1)  $500 - 140 - 230 = 130$   
 出したお金      ジュースの代金      ポテトの代金      おつり

(2)  $500 - (140 + 230) = 130$   
 出したお金      代金      おつり

( ) を使った式では、( ) の中を先に計算します。



3 1箱に、ケーキをたてに2こ、横に4こならべて入れます。ケーキ40こでは、箱は何こ入りますか。箱の数を求める計算を、ことばの式をもとにして、( ) を使って1つの式にかいて答えましょう。(10点)

ケーキの数 ÷ 1箱のケーキの数 = 箱の数

(式)  $40 \div (2 \times 4) = 5$  (5箱)

1箱に8こはいる      答え( 5こ )

4 1さつ130円のノートを買って3さつと、1本70円の鉛筆を4本買ったときの代金はいくらになりますか。1つの式にかいて答えを求めましょう。(10点)

(式)  $130 \times 3 + 70 \times 4 = 670$   
 390      280

答え( 670円 )

いろいろな計算のまじっている式では、計算の順じよは次のとおりです。

- ふつう、左から順に計算します。
- ( ) があるときは、( ) の中を先に計算します。
- +, - と、×, ÷ とでは、×, ÷ を先に計算します。

◎ 四則混合の式から、計算の順序をとらえ、正しく計算することができる。

5 新かん線の座席の横の列は、通路をはさんで、2人がけと3人がけに分かれています。75人がすわるには、何列入りますか。( ) を使って1つの式にかいて求めましょう。(10点)

(式)  $75 \div (2 + 3) = 15$  (列)



答え( 15列 )

6 次の問題を、( ) を使わない1つの式にかいて、答えを求めましょう。(10点×3)

(1) 1さつ80円のメモ帳を4さつ買って、500円出したときのおつり。

(式)  $500 - 80 \times 4 = 180$  (円)  
 (円)      (円)      320円

答え( 180円 )

(2) 400円の筆箱と、1ダースが600円のえん筆を半ダース買ったときの代金。  
12本      6本 → 半ダースは1ダースの半分

(式)  $400 + 600 \div 2 = 700$  (円)  
 (円)      (円)      300円

答え( 700円 )

(3) 1こ120円のパンを4こと、1パック210円の牛乳を2パック買ったときの代金。  
ぎゅうにゅう

(式)  $120 \times 4 + 210 \times 2 = 900$  (円)  
 (円)      (円)      480円      420円

答え( 900円 )

7 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。(2点×10)

①  $18 \div 2 \times 3 = 27$   
9

②  $18 \div (2 \times 3) = 3$   
6

③  $18 + 2 \times 3 = 24$   
6

④  $(18 + 2) \times 3 = 60$   
20

⑤  $18 - 6 \div 3 = 16$   
2

⑥  $(18 - 6) \div 3 = 4$   
12

⑦  $5 \times 8 - 6 \div 2 = 37$   
40      3

⑧  $5 \times (8 - 6) \div 2 = 5$   
2

⑨  $(5 \times 8 - 6) \div 2 = 17$   
34

⑩  $5 \times (8 - 6 \div 2) = 25$   
5

⑩ 分配法則を中心とした整数の計算のきまりのまとめ。

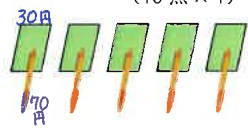
|    |    |          |            |     |   |
|----|----|----------|------------|-----|---|
| 42 | 基本 | 式と計算の順じよ | 計算のきまり・くふう | 学習日 | ／ |
|----|----|----------|------------|-----|---|

1 はん 班の買い物をしました。はるなさんは1本70円のペンを5本(5人分)、あきら君は1まい30円の画用紙を5まい(5人分)買いました。

(1) 1人分の代金をもとにして、代金を1つの式で求めましょう。

(式)  $(70 + 30) \times 5 = 500$  (円) (10点×4)

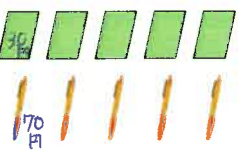
100円 (円) 答え〔 500円 〕



(2) ペンと画用紙の代金をべつべつにして、代金を1つの式で求めましょう。

(式)  $70 \times 5 + 30 \times 5 = 500$  (円) 答え〔 500円 〕

350円 (円) 150円 (円)



(3) 2人がはらった金かくの差を、1人分の差をもとにして、1つの式で求めましょう。

(式)  $(70 - 30) \times 5 = 200$  (円) 答え〔 200円 〕

40円 (円)

(4) ペンと画用紙の代金をべつべつにして、2人がはらった金かくの差を、1つの式で求めましょう。

(式)  $70 \times 5 - 30 \times 5 = 200$  (円) 答え〔 200円 〕

350円 (円) 150円 (円)

2 ( )を使った式には、次のようなきまりがあります。 (4点×2)

(1)  $(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$   
 (2)  $(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$

《問題》  $\blacksquare$ に6、 $\bullet$ に4、 $\blacktriangle$ に3をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

(1)  $(6+4) \times 3 = 30$   $6 \times 3 + 4 \times 3 = 30$   
 (2)  $(6-4) \times 3 = 6$   $6 \times 3 - 4 \times 3 = 6$

3 たし算やかけ算には、次のようなきまりがあります。 (4点×4)

たし算 ㉞  $\blacksquare + \bullet = \bullet + \blacksquare$  ㉟  $(\blacksquare + \bullet) + \blacktriangle = \blacksquare + (\bullet + \blacktriangle)$   
 かけ算 ㊸  $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$  ㊹  $(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$

2 にならって、 $\blacksquare$ に4、 $\bullet$ に3、 $\blacktriangle$ に2をあてはめて、きまりをたしかめましょう。

⑪ 交換法則, 結合法則, 分配法則を使った計算の工夫。

㉞  $4 + 3 = 7$   $3 + 4 = 7$

㉟  $(4 + 3) + 2 = 9$   $4 + (3 + 2) = 9$

㊸  $4 \times 3 = 12$   $3 \times 4 = 12$

㊹  $(4 \times 3) \times 2 = 24$   $4 \times (3 \times 2) = 24$

4 計算のきまりを使って、くふうして計算します。□にあてはまる数をかきましよう。 (5点×4)

(1)  $94 + 6 = 100$ であることを使いましよう。  
 $58 + 94 + 6 = 58 + (\square + \square)$   
 $= 58 + \square$   
 $= \square$

(2)  $25 \times 4 = 100$ であることを使いましよう。  
 $25 \times 28 = 25 \times (\square \times 7)$   
 $= (\square \times \square) \times 7$   
 $= \square \times 7$   
 $= \square$

(3)  $101 = 100 + 1$ であることを使いましよう。  
 $101 \times 47 = (100 + 1) \times 47$   
 $= \square \times 47 + \square \times 47$   
 $= \square + \square$   
 $= \square$

(4)  $99 = 100 - 1$ であることを使いましよう。  
 $99 \times 54 = (100 - 1) \times 54$   
 $= \square \times 54 - \square \times 54$   
 $= \square - \square$   
 $= \square$

5 くふうして、次の計算をしましよう。 (2点×8)

㉞  $89 + 93 + 7 = 189$   
 $89 + 100$

㉟  $34 + 78 + 66 = 178$   
 $100 + 78$

㊸  $25 \times 24 = 600$   
 $\frac{25 \times 4 \times 6}{100}$

㊹  $36 \times 25 = 900$   
 $\frac{25 \times 4 \times 9}{100}$

㉞  $50 \times 48 = 2400$   
 $\frac{50 \times 2 \times 24}{100}$

㉟  $98 \times 5 = 490$   
 $\frac{100 \times 5 - 2 \times 5}{100}$

㊸  $102 \times 45 = 4590$   
 $\frac{100 \times 45 + 2 \times 45}{4500 \quad 90}$

㊹  $999 \times 9 = 8991$   
 $\frac{1000 \times 9 - 1 \times 9}{9000 \quad 9}$

② いろいろな式の表す意味を図と結びつけて考える。

|    |    |          |               |     |   |
|----|----|----------|---------------|-----|---|
| 43 | 基本 | 式と計算の順じよ | 計算の間の関係・式のみみ方 | 学習目 | ／ |
|----|----|----------|---------------|-----|---|

1 1箱に同じ数ずつ入ったアメを6箱買うと、全部で48このアメが買えました。アメは1箱に何こ入っていましたか。1箱のアメの数を□ことして式にかき、□の求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [  $\square \times 6 = 48$  ]

(□の求め方)

$48 \div 6 = 8 (=)$  答え [ 8こ ]

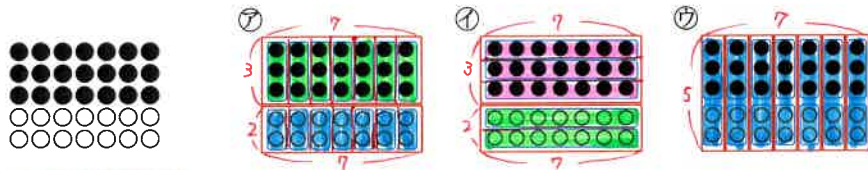
2 1ふくろのアメを、同じ数ずつ6人に分けたら、1人分が7こになりました。アメは1ふくろに何こ入っていましたか。1ふくろのアメの数を□ことして式にかき、□の求め方と答えをかきましょう。(10点)

(式) [  $\square \div 6 = 7$  ]

(□の求め方)

$7 \times 6 = 42 (=)$  答え [ 42こ ]

3 左の図の黒石と白石を合わせた数を、いろいろな考え方で求めました。次の(1)~(3)の式は、㊶・㊷・㊸のどの図で考えたものですか。また、そう考えたわけも説明しましょう。(10点×3)



(1)  $3 \times 7 + 2 \times 7$  ..... [ ㊶ ]

$3 \times 7 + 2 \times 7$ は、3の7に分と、2の7に分を合わせているので、[ ㊶ ]の図で考えたものです。

(2)  $(3+2) \times 7$  ..... [ ㊷ ]

$(3+2) \times 7$ は、3こと2ことを合わせたものが7つ分なので、[ ㊷ ]の図で考えたものです。

(3)  $7 \times 3 + 7 \times 2$  ..... [ ㊸ ]

$7 \times 3 + 7 \times 2$ は、7の3に分と、7の2に分を合わせているので、[ ㊸ ]の図で考えたものです。

4 次の問題を□を使った式に表して、□にあてはまる数をもとめましょう。(8点×4)

(1) 子どもが□人遊んでいます。そこへ6人きたので15人になりました。

(式) [  $\square + 6 = 15$  ]

(□の求め方)

$15 - 6 = 9 (=)$

答え [ 9人 ]

(2) 子どもが□人遊んでいます。そのうち5人帰ったので14人になりました。

(式) [  $\square - 5 = 14$  ]

(□の求め方)

$14 + 5 = 19 (=)$

答え [ 19人 ]

(3) 同じねだんの画用紙を6まい買ったなら48円でした。

(式) [  $\square \times 6 = 48$  ]

(□の求め方)

$48 \div 6 = 8 (=)$

答え [ 8円 ]

(4) 買ってきたまんびつを同じ数ずつ9人に分けたら、1人分が6本になりました。

(式) [  $\square \div 9 = 6$  ]

(□の求め方)

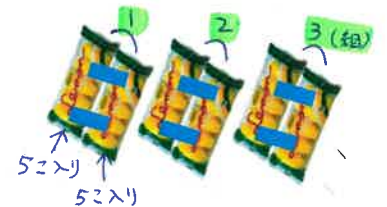
$6 \times 9 = 54 (=)$

答え [ 54本 ]

5 石けんを2ふくろずつ組にしたものが3組あります。

1ふくろには石けんが5こずつ入っています。

次の2つの式は、どのように考えて石けんの数を求めたのか、説明しましょう。(9点×2)



①  $(5 \times 2) \times 3$

$(5 \times 2) \times 3$ は、1組の石けんの数を先に求めて、次に3組分の石けんの数を求めました。

②  $5 \times (2 \times 3)$

$5 \times (2 \times 3)$ は、石けんのふくろの数を先に求めて、次に全部の石けんの数を求めました。

◎ 学習内容の理解を確認する。

|    |    |          |        |     |   |
|----|----|----------|--------|-----|---|
| 44 | 基本 | 式と計算の順じよ | まとめの問題 | 学習日 | / |
|----|----|----------|--------|-----|---|

1 120円のクリームパンを1つと、180円のハムサンドを1つ買って、500円出しました。(5点×2)

① おつりを求めることばの式をかきましょう。

$$\boxed{\text{出したお金}} - \boxed{\text{代金}} = \boxed{\text{おつり}}$$

② おつりを求める計算を、①のことばの式をもとにして、( )を使って1つの式にかきましょう。

$$\text{(式)} \quad 500 - \underbrace{(120 + 180)}_{300 \text{ (円)}} = 200 \text{ (円)}$$

2 計算の順じよに気をつけて、次の計算をしましょう。(3点×6)

①  $7 + 3 \times 5 = 22$

②  $21 - 14 \div 7 = 19$

③  $32 \div 4 + 4 \times 2 = 16$

④  $54 \div 6 - 3 \times 2 = 3$

⑤  $(14 - 12 \div 2) \times 2 = 16$

⑥  $(7 + 20 \div 5) \times 8 = 88$

3  にあてはまる数をかきましょう。(3点×4)

①  $4 \times 5 = \boxed{5} \times 4$

②  $(6 \times 2) \times 5 = 6 \times (\boxed{2} \times \boxed{5})$

③  $14 \times 5 + 6 \times 5 = (14 + 6) \times \boxed{5}$

④  $19 \times 8 - 9 \times 8 = (19 - 9) \times \boxed{8}$

4  にあてはまる数をかきましょう。(5点×2)

①  $25 \times 24 = 25 \times (\boxed{4} \times 6)$   
 $= (25 \times \boxed{4}) \times 6$   
 $= (\boxed{100}) \times 6$   
 $= \boxed{600}$

②  $99 \times 46 = (\boxed{100} - 1) \times 46$   
 $= \boxed{100} \times 46 - 1 \times 46$   
 $= \boxed{4600} - 46$   
 $= \boxed{4554}$

5 くふうして、次の計算をしましょう。(3点×4)

①  $58 + 37 + 63 = 58 + 100 = 158$

②  $64 + 77 + 36 = 100 + 77 = 177$

③  $25 \times 36 = 25 \times 4 \times 9 = 25 \times 4 \times 9 = 900$

④  $99 \times 62 = (100 - 1) \times 62 = 100 \times 62 - 1 \times 62 = 6200 - 62 = 6138$

6  の数は、どんな計算で求められますか。(式と答えをかきましょう)(4点×4)

①  + 28 = 72

②  - 36 = 49

$\left[ 72 - 28 = 44 \right]$

$\left[ 49 + 36 = 85 \right]$   
(36 + 49 = 85)

③  × 8 = 48

④  ÷ 3 = 21

$\left[ 48 \div 8 = 6 \right]$

$\left[ 21 \times 3 = 63 \right]$   
(3 × 21 = 63)

7 450円のフランスパンと300円のサンドイッチを買い、1000円出すと、おつりは何円ですか。1つの式にかいて、答えを求めましょう。(10点)

(式)  $1000 - \underbrace{(450 + 300)}_{750 \text{ (円)}} = 250 \text{ (円)}$

または、 $(1000 - 450 - 300 = 250 \text{ (円)})$

答え  $(250 \text{ 円})$

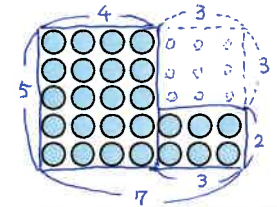
8 右の図の○の数を、次のようにして求めました。

㊦  $5 \times 4 + 2 \times 3$

㊧  $5 \times 7 - 3 \times 3$

それぞれどのように考えたのかを説明しましょう。

(6点×2)



㊦  $5 \times 4 + 2 \times 3$  は、5の4二分と2の3二分を合わせて求めました。

㊧  $5 \times 7 - 3 \times 3$  は、5の7二分から3の3二分を引いて求めました。